

# 宮崎「橋の日」 20周年記念誌



平成19年1月  
宮崎「橋の日」実行委員会

## 橋の日シンボルマーク紹介

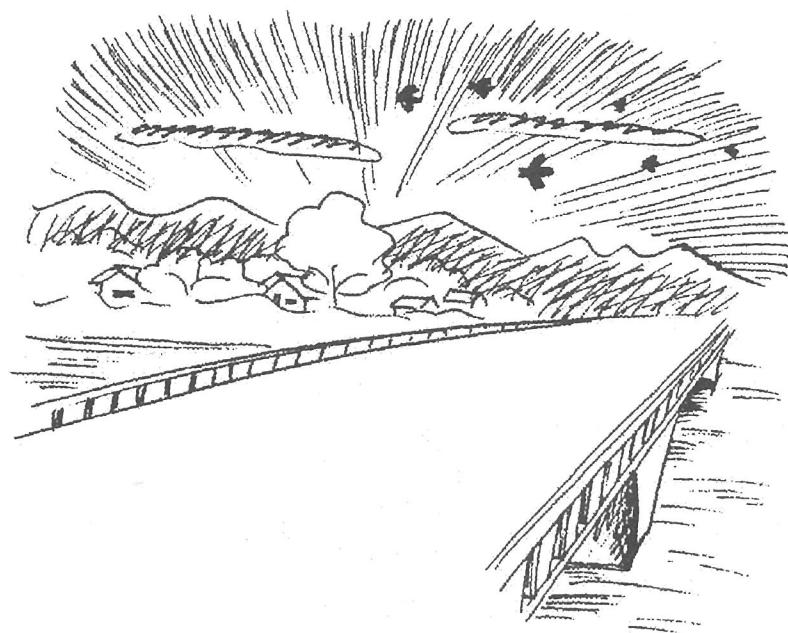


川にかかる橋、海にかかる橋、道路にかかる橋、鉄道にかかる橋  
身の回りには、いろんな橋がある。  
目に見える橋、そして心にかかる橋。  
そこには人と、人のかかわり、自然と人とのかかわり  
いろんな思いをつないで橋はそこにある。

斎藤正江(神奈川県)

◎全国より305点の応募があり1993年6月上記の1点を選定

# 宮崎「橋の日」20周年記念誌



宮崎「橋の日」実行委員会



# 目 次

橋の日制定の経緯と目的	2
会長あいさつ	3
会員エッセイ集	5
橋の日活動写真集（第1回～第20回）	17
主な活動の紹介	
橋の日の歩み	39
橋の日サミットinみやざき2006の開催	40
宮崎の橋「101」選ポスター	42
石橋ポスター制作	43
紙芝居「橋橋と福島邦成」紹介	44
橋に関する作文募集（特選集）	46
なんでも鑑定団に出演	50
橋＆橋の日へのメッセージ	51
アンケート調査報告	58
報道にみる橋の日	
宮崎編	61
県外の活動編	78
資料集	
橋の日イベントの取組について	86
橋の日の歌　楽譜	88
朝まだき　楽譜	92
橋の日活動支援について	94
会員名簿・協力団体一覧	95

# 橋の日制定の経緯と目的

## (経緯)

昭和60年 湯浅利彦氏(延岡市出身)が「橋の日」を提唱。  
昭和61年 8月4日 全国に先駆けて第1回「橋の日」が  
延岡市大瀬川に架かる安賀多橋で開催される。  
昭和62年 8月4日 第1回「宮崎橋の日」を大淀川に架かる橋橋で開催。  
現在は、会長に 塩見一郎(元宮崎県商工会議所連合会 会頭)  
他会員17名と各団体、橋梁メーカー・行政機関の協力により、  
毎年8月4日(ハシ)に開催しています。

## ■ 橋の日の目的

- ◎ 8月4日(ハシ)を「橋の日」と定め、私たちの郷土の心のイベントとします。
- ◎ 私たちの生活と文化に、密接なかかわりを持つ川や橋に感謝し、橋や河川とのふれあいの日にします。
- ◎ 郷土を愛する心と河川の愛護・浄化への関心を育みます。
- ◎ 「橋の日」を通して、多くの人達との心のかけ橋をつくり、「橋の日」を全国的運動に発展させます。



## 会長あいさつ



宮崎橋の日実行委員会  
会長 塩見 一郎

「宮崎橋の日」に、毎年大勢の皆さま方にご協力を得て、盛大に開催出来ますことを大変うれしく思っているところでございます。又、本年は、宮崎橋の日運動が20周年を迎えることができました。

これもひとえに、皆様方のご協力とご理解の賜であると主催者を代表いたしまして、心から感謝を申し上げる次第でございます。

私たちの住むふるさと宮崎県は、太陽と縁豊かな山々に囲まれ、これに端を発して太平洋に注ぐ多くの河川は、潤いのある美しく豊かな自然環境を作り出しております。その河川には、大地をつなぐ数々の橋が架かっております。

どの橋も私たちの毎日の生活、産業・経済などや地域の歴史・文化に密接な関わりを持ち、川と共に生きる私たちにとって、橋は日常生活に欠かすことの出来ない大切で重要なものですございます。

昔から「心の架け橋、愛の架け橋」など、ことわざの中に数多く使われておりますように、人・物・心・文化を渡し、つなぐ橋、これらの橋には、先人が智恵を生かし、血と汗にまみれた数々の物語もあり、ふるさとの歴史に大きな影響を与えてきました。

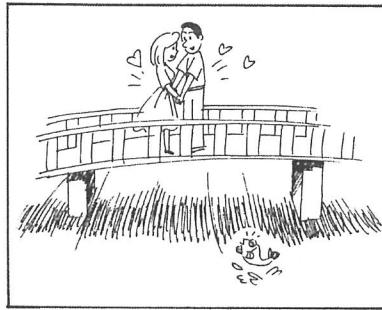
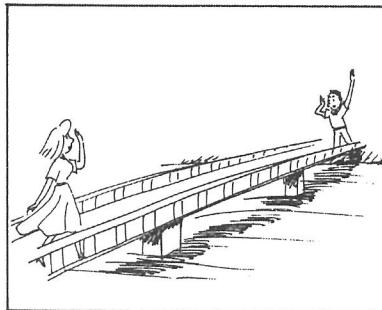
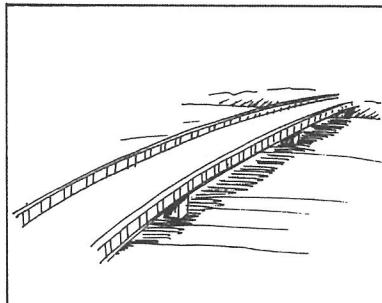
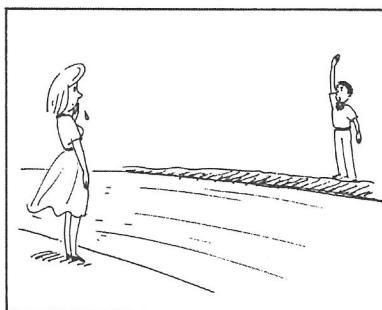
橋には、その地域の歴史を物語るロマンがあります。幼い日の思い出があります。

このようなことから、私たちは、なにげなく利用している橋の役割について、改めて認識することにより、河川の愛護や浄化への関心を育て、あわせて橋とのふれあいを通して潤いのある街づくりのために、8月4日を橋の日と定め、記念行事を毎年実施しているところでございます。

宮崎から生まれ育った「橋の日」運動が、皆様方のご協力を得まして、全国に広く知られるようになりました。私共は、これからも橋の日の活動を通して人と人との心の架け橋をつくり、この運動の輪が今後、より一層大きく広がることを心から願い、更に頑張ってまいります。



# 会員エッセイ集



# 宮崎橋の日誕生はこの様にして

昭和61年8月4日、延岡市の大瀬川にかかる安賀多橋で、橋の日の行事が実施され、その提唱者の湯浅利彦さんが、ひょっこり小戸小学校を訪問されました。話を聞きますと、「延岡で実施された橋の日」の経過を、話されました。二人して河川と橋の事に話が弾みました。話の中で、県都宮崎市でも橋の日を実施しようということになりました。

ちょうどこの年から、宮崎市教育委員会では、大淀川教育課程編集に向けての協議が始まった時でもありましたし、退職してから少しでも大淀川教育課程実施に向けてのお役に立てばと言う事で、宮崎橋の日実施に取り組む事にいたしました。

さて、承諾はしたもの、どうした内容で第1回の橋の日の行事をしたら良いものかと、思案の毎日でした。幸い湯浅利彦さんが、日夜をわかつたず積極的に各方面に働きかけ、呼びかけをしていただきました。私も学校で知り合った方々や市民の皆さん方に参加協力を依頼し、子ども達にも呼びかけを行ったものでした。

こうした働きかけで、昭和62年8月4日、多くの方々に集まって頂いて、第1回の宮崎橋の日を実施することが出来ました。

当日の看板や横断幕等は、宮崎港小PTAの書芸社の田代さん、太陽美装社の栗栖さん方の協力で、掲げる事が出来ましたし、コカコーラさんからもジュースの差し入れを頂き、ホテル街からも応分のご寄付を頂戴しました。

このような協力を頂きながら、当日は、宮崎市役所前の噴水広場で、橋の日委員長あいさつに続き、ラジオ体操、橋、河川の講話、橋橋河川清掃、最後にメッセージ付き風船を飛放して1日が終了しました。

飛放した風船は、東風に乗り遠く鹿児島市の川内市まで届いていました。橋の欄干に、数多くの風船取り付けと飛放には、ご夫婦で参加された方々の精一杯のお力添えと励ましが、最初の橋の日だっただけに忘れる事は出来ません。

何事も最初が大事ですが、出発が巧くいったことで、平成6年8月4日には、日本記念日協会から「橋の日制定」の認定を頂き、宮崎橋の日を第20回までこぎ着け「橋の日サミット in みやざき 2006」を実施する事が出来たことは、何よりの喜びであります。

副会長 横山 忠夫



# ソウルに復元された清渓川の古橋

チョン ゲ チョン

昨秋10月10日から3日程、“みやざきエッセイスト・クラブ”有志の一員として、韓国隨筆家協会の招きに応じて韓国・仁川(インチョン)市を訪問した。この訪韓は、私としては宮崎大学の定年退職2年前の1991年10月に韓国・順天(スンチョン)大学校(韓国では国立大学には「校」という文字が付く)土木工学科と宮崎大学土木工学科との学術交流協定調印に出張して以来の、15年ぶりの韓国旅行であった。仁川では、韓国隨筆家協会の行事として、“みやざきエッセイスト・クラブ”有志との交流行事の他に、仁川市の江華島(ガンガドウ)にある古い仏教寺院や先史時代支石墓遺跡の見学等が予定されていた。その旅行日程の中で私は、2003年以来、「ソウルの奇跡」として土木環境工学の領域で有名になっていたソウル市の清渓川復元事業の成果を是非とも専門の立場から視察することを日程に入れていた。この清渓川という川は、600年以上前の朝鮮王朝の首都(ソウル)建設に当たって、当時の風水思想に基づく都市計画の重要な要素として、ソウルの水害対策を兼ねて整備された人工的な河川であった。しかし、1970年以降の韓国高度経済成長に伴う都市交通対策の一環として、清渓川をコンクリートの蓋で覆って道路とし、更にその上に高架の都市高速道路を建設したために、韓国高度経済成長のシンボルともなったのであるが、その結果として清渓川は下水道となりその歴史的な存在が市民の目から消え去っていたのである。それが、2002年7月に就任したソウル市長の第一公約としての清渓川復元事業が2003年7月に開始され、2005年10月に完成したのである。その結果、清渓川は1日12万m<sup>3</sup>の浄化水(但し、魚の生息を考慮して塩素は注入されていない)が流れる見事な公園水路として復活されたのである。その規模は、延長約6kmにわたって流路幅5~6mの水路が屈曲し、その両側に幅員4m程度の遊歩道が設けられている。私が一日その清渓川を視察した際には中秋の晴れ渡った木曜日の昼前であったが、幼稚園児から小・中学生、そして老若男女の大までが、膝位までの透き通った水の流れと、所々に泳ぐ体長10cm前後の魚の群れを楽しんでいた。ところで、橋に關係ある本稿で特筆したい事は、復活された清渓川に架かる橋の一つに、復元工事に当たって掘り出された18世紀半ばの古い石橋の素材が活用されていたことである。その3径間単純桁の石橋は広東橋(ファントンギョ)と言う名の石橋で、その文化遺跡としての朝鮮王朝時代の精巧な文様や築造年代を表す文字の彫刻された切石が、写真1と写真2に示すように橋台壁面や橋脚を飾っていた。与えられた紙面の中で、肝心の橋に関する話はこの数行で終わらざるを得ないが、私には、最近我が国で話題に上がって今は立ち消え状態になっている、あの東京の日本橋を跨ぐ都市高速道路の撤去問題が、何とも空しく感じられるのである。終わりに駄句一句。“天高きソウルに橋の生き返り” —ひろし—

相談役 藤本 廣

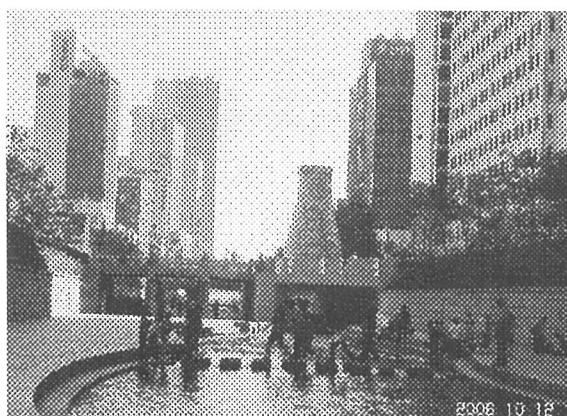


写真1. 復活したソウルの清渓川と広東橋。(著者撮影)



写真2. 広東橋の橋台に活用されている600年前の切石の文様。(著者撮影)

# 20周年を顧みて

昭和60年湯浅利彦さんが提唱された「橋の日」をさらに発展させたいとして、宮崎市でも始めたいので実行委員になって貰えないかとの申し出を受けました。

私の曾祖父邦成が明治13年に初めて橋を架けた場所での記念行事もあり快諾しました。

初めてのことでもあり、どのような形でアピールしていくか会議を重ねた結果、先ず一人でも多く「橋の日」を知ってもらうことが大切であるとの結論に達しました。

当日の式典や行事は延岡を参考にするとして、事前PRをすることにしました。そこでダイエーにお願いして世界の橋写真展をすることにしました。

写真の収集や借用、仮設掲示板の設置や写真パネルの掲示など試行錯誤しながらの準備でした。

ショッピングの合間に多数見てくれ、熱心な方は質問をされるなど盛況でした。

その後の「橋の日」は回を重ねる毎に充実し、広く県外にも波及しています。

提唱者の湯浅氏と事務局長の鶴羽氏はじめ、多くの協力者あっての成果であると思います。

また、私事になりますが、大淀小学校四年生の郷土の歴史研究グループが、橋橋の由来や大淀川について話して欲しいとの申し出があり、講師を引き受けました。

子供の質問は、橋の無い時代は、どのように対岸に渡ったか、何故個人で橋を架けなければならなかつたか、杭はどのような工法で打ったかなど、今は無い工法の説明に二本子や三ッ又の模型を作つて滑車で錘を落として見せ、納得して貰いました。

生徒等は、学んだことを父兄の前で後日発表することが予定されており、熱心さにたじたじでした。

因みに大淀小学校の校歌は、橋橋と大淀川が歌詞にあり、子供の関心も高いのだと思いました。

校庭の記念碑の歌詞を紹介します。

つきせぬかおりの橋橋  
たえせぬ流れの大淀川  
とおときところに生まれいてて  
つとうそれしき教えの庭

今回郷土史研究グループの小学生は、中学高生になっても、更に橋や川に興味をもつてくれるることを期待しています。

初代橋橋を架けた福島邦成の曾孫 福島 順一

# 橋の日の提唱によせて

毎年8月4日に全国各地で行われています「橋の日」のイベントを提唱し、その推進拡大のため全国を活動中の湯浅です。

私は、宮崎県北部に位置する水郷の都市・延岡市で生まれ育ちました。自宅近くを五ヶ瀬川の派流、大瀬川が流れていることもあり、川はわたしにとって子供の頃の大切な遊び場になりました。いまでは半世紀前の懐かしい思い出となりましたが、近所の仲間と魚を捕つたり、泳いだりと、毎日カッパのように遊んでいました。(笑) 当時の川は、きれいな水が豊かに流れ、鮎などたくさんの魚が泳ぐ、まさに“楽園”でした。

そこには台風のたびに壊れる、ひ弱な木造の大瀬橋と、ビクともしない頑丈なコンクリート造の安賀多橋が架かっており、その橋も子どもたちの格好の遊び場となっていました。

このような環境で育った私は、年を重ねるごとに“橋への熱い思い”と“感謝の気持”が芽生えてきたように思います。

木造の大瀬橋が流され、町が分断されたときの不便な経験に、改めて橋の存在の大きさとありがたさを子ども心に教えられました。

自身の経験のもと、近年の社会や環境の変化に、川と橋に関心を持つ必要性を感じ、「郷土のシンボルである河川とそこに架かる橋を通して、ふるさとを愛する心と河川の浄化を図ろう」と昭和60年9月に「8月4日(ハシ)・橋の日」を提唱致しました。

それから9年後の平成6年8月4日には「8月4日・橋の日」が日本記念日協会から記念日として認定されました。

橋の日の活動をする中で、全国には歴史的・文化的に優れた橋、最新技術を駆使した近代的な橋等、“名橋”的多さに驚かされています。

橋には、木橋・石橋・コンクリート橋・鋼橋等さまざまな種類があり、水路にひっそり架かる小さな橋から、海を越えて架かる雄大な長大橋まで、その規模もさまざまです。

橋は生活と文化を支える…と一般的に言われますが、橋には浪漫があって目に見えない何かがあるように思えます。

それぞれの人にそれぞれの思いの橋があろうかと思います。

8月4日の橋の日には、身近な橋に思いを巡らしてみてはいかがでしょうか…。

橋の日提唱者 湯浅 利彦

# 何故、橋を仕事に選んだのか

私の学生時代には九州地区土木系学生集会が毎年夏休みに開催されており、他大学学生との交流を図っていた。大学2年次のとき、完成時には東洋一となる関門橋（吊橋：1973年（昭48））が架設中であり、主塔が完成したばかりで、その年の学生集会では主塔の振動試験の見学が企画された。

起振方法は主塔頂部にジェット噴射機を取り付け、ジェット噴射によって主塔を揺らし、その振動特性を測ろうとするもので、多くの学生は初めて見る実橋の大型試験に期待していたが、強風のために中止となった。

しかしながら、その10年前に建設された若戸大橋（吊橋：1962年（昭37）・完成時は東洋一）も見学の一部にあり、普段は観ることができない橋台内部などを見学した。橋台の外観は大きなコンクリートの塊のように見えるが、橋台内部では吊橋の太いメインケーブルを個々のケーブルに分解し、一本毎に調整・固定されていた。

説明を担当された技術者の方は、橋が長くなるほど、緻密な解析・設計・施工が施されていると言われ、大学では習っていない理論や施工方法などが紹介された。

当時の土木は日本列島改造ブームで大規模なプロジェクトが目白押しで、見学会で直接見聞きしたことを契機に、大規模な橋建設に関わる仕事に就きたいと考えるようになった。

4年次の卒業研究では迷うことなく構造研究室を希望し、以後30年余、大学で橋の力学を講義し、研究では様々な橋の解析・実験を行ってきている。

宮崎「橋の日」実行委員会の活動はホームページに見られるように、その活発さに驚くかぎりである。8月4日の市民と一体となった例年の活動に加えて、講演会や宮崎県の石橋や名橋を紹介するポスター作成、橋の日サミットなど多彩な活動を展開し、その活動を全国へ発信しようとする意思を持った人々の集まりが実行委員会である。

私も橋に関わる一員として委員となったものの、この数年は大学の「忙しさ」のため名前だけの委員となっている。

このような「橋の日」活動が活発に継続されることを祈念するとともに、私自身もお役に立てる委員となるように努力したいと思っている。

宮崎大学工学部 今井 富士夫

# 千住大橋での「仙台藩の筒払い」

私は取材をして文章とイラストで表現するイラストライターをしており、「散歩考古学」というものを提唱・実践している。

好奇心をひく名もなき遺構や、まちの気配といった土地の記憶の断片から、それにまつわる由緒話を引き出し、それを調べて時間の地層をめくると、まちの成り立ちや時代の仕組みが姿を見せ、さらには大きな歴史に立ち至る。これが散歩考古学で、江戸東京の歴史散歩の本を出すときに、出版社が私の視点・手法を、散歩考古学と名づけたのである。

そんな私が調べ物をしていて、ある書物の中に興味深い話を見つけた。

東京の荒川に「橋の日」を催している「千住大橋」という橋が架かっているが、江戸時代伊達藩は参勤交代で帰国する際に、この橋の上で「筒払い」と称して、一斉に空砲を撃つことになっていたというのだ。これを詠んだ川柳「おいとまに千住の耳を驚かし」「伊達な旅立御江戸を出るとづどん」も記載されている。

好奇心をそそる話だが、文政元（1818）年に江戸市域に入ったほどの江戸の外れとはいえ、銃を厳しく取り締まった江戸幕府が、そのようなことを許したか疑問が残る。ちなみに、千住大橋の橋杭は伊達政宗の手伝普請によるもので、伊達藩と関係の深い橋である。

そこで調べてみることにしたが、東京都立中央図書館では、この書物以外には筒払いの記述は見当らなかった。千住大橋の地元の足立区郷土博物館によると、「そのような言い伝えはあるが、それを記した文献はない。幕領（御鷹場）である千住で、空砲とはいえ発砲するのは自殺行為に等しいので考えにくく、筒払いの記述は川柳にあるだけだ」という。

さらに仙台市博物館に問い合わせると、「筒払いというのは何かで見たことはあるが、伊達政宗の伝説化・神話化が後になるほど顕著になり、伊達藩だからということで物語が作られていく傾向があるので、これもその一種なのかもしれない」という。

そして次のような興味深い話を紹介してくれた。

「寛永12（1635）年、諸大名総出仕の席上で、三代将軍徳川家光はあらためて参勤交代制を発令したが、外様大名の反響が気がかりであった。その時、伊達政宗が進み出て、万一違背の者あらば、政宗先陣仕り踏みつぶし申さむと発言。家光は政宗に感謝し、政宗を憎んで危害を加える者があるかもしれないので、用心のために十文目銃十挺に活火縄を添えて贈った」。

「以後伊達藩は江戸参勤の折に、遺恨関係にある二本松藩（福島県）に入ると、十挺の活火縄銃に点火し、銃口を二本松城に向けて通過するのが慣例になった」というのだ。

仮にこの「筒払い」が史実ではないとしても、ではなぜこのような話が生まれたのか、その時代背景や当時の人々の行動心理を探るのも、「散歩考古学」の愉しみなのである。

イラストライター 松本こーせい

# 幻の橋(1988.8.8)の日

私は昭和 60 年(1985)代東京で、橋梁会社に勤めながら(社)日本橋梁建設協会の架設委員会の委員として活動しておりましたが「架かった橋を、どのようにして長もちさせるか」といった次世代の課題「補修部会」の仕事にシフトして取り組んでいました。

仕事柄「橋」については以前から関心をもっていました。そのことは自分の仕事と直接に関係して第 3 者的には、当たり前で不思議なことではないのです。

しかし、「自分の仕事として、橋に関わっている当たり前のことに誇りをもてる幸せ」を、実感しながら毎日を過ごしておりました。

世の中には「社会的な公共施設」が、多く存在しております。

まずは「ライフ・ライン」として道路・上下水道・電力等エネルギー供給など「基本的生存基盤」を担っている施設があります。

次ぎに、日常の生活を楽しむなど「生き甲斐の基盤」確保を担うための施設として、芸術ホール・劇場、図書館・博物館、スポーツスタジアム・ドーム、公園、観光施設など多くが開放されています。これら「エンジョイ・スペース(スポット)」は、個人的なそれぞれの好み、選択肢を豊富に受け容れる役目を担って存在しています。

こうした状況の中で、前者に属する「最も基本的で重要な施設は道路」であり、人間が生活・活動するための移動手段・生活物資の輸送手段として欠かせない公共施設であります。その道路は全て「橋」で繋がって、全国的に道路網(ネットワーク)として社会基盤を支えているのです。道路の機能は橋で繋がることで、はじめて活かされるのです。

公共物として社会的に提供されるこれら「ライフ・ラインとエンジョイ・スペースの 2 つの生活要素・施設が、バランスを保った状態・環境が、最も快適な社会である」と言えるのではないでしょうか。

こうしたネットワークの「要を担っている橋」に関わる仕事に携われることは「生き甲斐としてこれ以上のものはない」。そのような実感をもって仕事に従事して参りました。

この様に、誰でもが「自分の携わっている仕事に対して、屁理屈をもって武装する」ことによって、日々を「遣り甲斐・生き甲斐」を感じることが出来るのです。

こうした事情があつて私は「橋を愛し、その役割・恩恵をもっと社会的に認識してもらいたい」と常々思い続けていたのです。

以前から考えておりました「橋の日」を実現するためには、その「きっかけ」が欲しかつたのです。ある日、和暦の年号、昭和は 63 年が西暦で 1988 年に相当することに気づき 8 月 8 日が、1988.8.8 となり、8 の数字が 4 つ並ぶことに着目しました。

すなわち「8 の数字が 4 つ並ぶ」ことで、語呂合わせで「ハシ・橋」であることに気づいたのです。

そこで、会社のトップに了承を得ましたが、支援は請わないで「個人的な活動」として日本全国を対象に、トップ・ダウン方式を狙って、時の国内の権威あるトップに、そのことのアピール作戦を展開しました。

考え方として、こうした活動の実施機関として関係する業界、あるいは行政が関わることは仕事、または利益誘導といった誤解が生じやすい。

したがって、あくまで、民間主導で「文化的なかたちで興らなければならぬ」との方針で対応していくことを考えていました。

しかし、そうは言っても、その「きっかけづくり」の手がかりとしては、橋に関心のある政治家、官・業界関係者を介してアピールすることが効果的であると判断しました。

その当時は、まだホームページなどの大衆情報機関（システム）はありませんでした。

そこで、「昭和63年の新春の年賀状を、有効に活用する」ことを思い立ち、無謀を覚悟で楽しみも含めて、そのことを提案した文面の賀状を、時の橋本総理大臣を始め、それなりの政治家、自民党の幹部・建設省、道路4公団、橋の業界、文化人などのトップ、業界紙など、それぞれの考えられる重要人物に対して250枚を発送しました。

結果的には橋本総理大臣をはじめ、道路公団などそれなりの何人から返事の年賀状はいただきました。

しかし、その当時は、橋梁業界にとっては本州四国連絡橋の世界一の「明石海峡大橋」建設の最終段階であり、橋にとって最も華やかで忙しい時分でしたが、このようなお祭りどころではないと言った状況で、理解はしてもらいましたが、その実現には至りませんでした。

「東京のど真ん中で一人だけで主張」しても、どうにもならないといった状況に終わりました。

その当時、宮崎で8月4日「橋の日」の行事が始まったことは承知しておりました。

その後、縁がありまして平成9年の6月、定年を1年残して宮崎の建設総合設計コンサルタント（水野 茂社長）に迎えられ転職・移住しました。

ある日、会社から「宮崎橋の日」の実行委員会の通知を渡され、行事に関わるようにとのことで、忘れたままになっていた「幻の橋の日」を思い出して喜んで関与し、提唱者である湯浅利彦氏との縁にも繋がり現在に至っております。

橋は極めて日常的実用施設で身近な重要社会資本であると同時に、併せて「ロマン溢れるイメージ」を秘めており、文化・芸術・人間の生活・ドラマなどと関わり、さらに「郷里にとってランドマーク的存在」でもあり、県外者、特に「故郷を離れた人達」にとっては「思い出そのもの」で文化的遺産といった存在でもあり、大切にしたいものです。

今後「橋の日」が全国・全世界に繋がり、より多くの人々に関心をもってもらうことを期待しております。

私は宮崎に移住してから、歩行者が見あたらないことに気づき「徒步を楽しむ会」に関連して「徒步通勤を楽しむ会」・「徒步で橋を楽しむ会!!」を興し、10月4日「徒步の日」を提唱し、日本記念日協会に登録し認知され現在に至っております。

橋を歩いて渡り、橋そのものはもちろん「橋からの風景」も楽しんでもらいたいのです。

技術士（建設部門） 貞原 信義

# 「橋の日」活動20周年にあたり

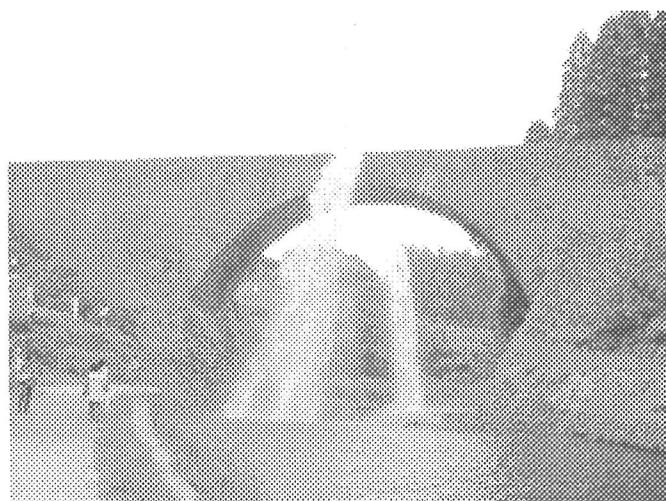
## 1 橋との出会い

「橋の日」を提唱された湯浅さんとの出会いは、5年ほど前になる。

教え子のY君を通しての紹介だった。Y君の勤めている会社に上司として勤務されていたのが湯浅さんで、早速「橋の日」のことを伺うこととなり、即実行委員会に入ることを決めた。

私が橋に興味を持ったのは、学生時代に熊本県矢部町(現 山都町)の通潤橋を見たことがきっかけだった。通潤橋は、わが国最大の石造アーチ水道橋で、長さ48m、高さ30mの規模を誇る。城の石垣を想わせる鞘石垣の石組みの美しさと、放水時の水圧の強さに驚き、150年程前の偉業にただ感心するばかりだった。中国の文学的な麗句では、石造アーチ橋のことを「虹橋」に喻えたりするが、下から見上げると、まさに“虹の橋”そのものである。それ以来、石造アーチ橋に魅せられて、20数年調査を行うこととなった。

次に、私が20年来調査を行っている石造アーチ橋の概要について触れたい。



(写真 - 1) 通潤橋

## 2 九州の石造アーチ橋普及に関わった石工集団

わが国における石造アーチ橋は、長崎の中島川に架かる寛永11年(1634)建設の眼鏡橋が最初であり、江戸時代に交易のあった中国から建設技術がもたらされたといわれている。

その後、九州全土に建設技術が伝わり、江戸期から昭和初期にかけて約2000橋の石造アーチ橋が建設された。一方、本州・四国の石造アーチ橋は、九州のわずか2%にあたる40橋程度であり、あまり普及しなかった。九州に石造アーチ橋が普及した背景として、わが国最古の石造アーチ橋が長崎に建設されたこと、さらに陸続きの九州において実物の見学が容易にできたこと、工事に適した多くの石材があったこと、石造アーチ橋建設技術を伝えるための工事の需要が継続的にあったことなどがあげられる。特に、石造アーチ橋の建設技術を普及させた江戸期の工事として、九州最大規模で行われた肥後国(現在の熊本県)の七百町干拓(文政4年)の工事があった。この工事では、肥後の石工「岩永三五郎」の指導・監督のもと数多くの石造アーチ橋が建設された。九州では、この江戸後期の工事を契機に、石造アーチ橋のブーム(江戸期の建設数の約8割)をむかえ、肥後の野津石工や種山石工のような石工集団が活躍した。野津石工の棟梁的な存在である「岩永三五郎」は、肥後国で10数橋の石造アーチ橋を建設後薩摩国に渡り、甲突川の五大石橋をはじめ約40橋の建設に携わった。種山石工の中心となったのは、「岩永三五郎」の弟子である「宇市」と「丈八」の兄弟である。この兄弟は、肥後国で靈台橋及び通潤橋の二大事業に従事しただけでなく、幕末から明治にかけて九州は元より本州(東京二重橋ほか)まで出かけて石造アーチ橋を建設した。

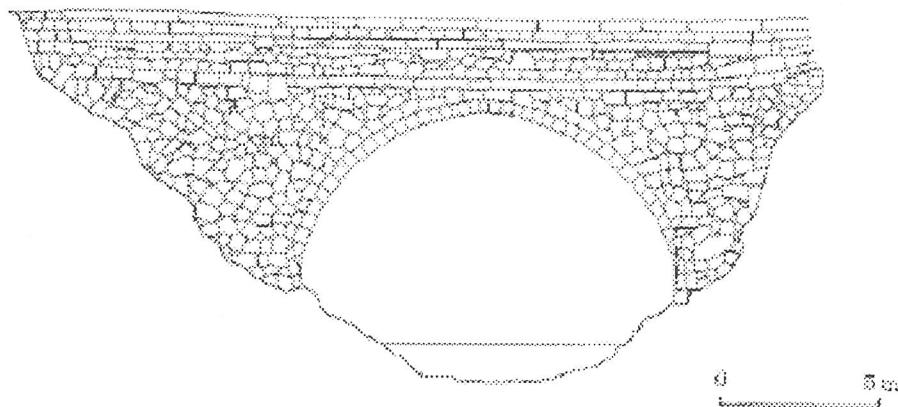
このように、九州の石造アーチ橋は、長崎から九州全土に九州の石工集団の建設技術の創意・工夫により普及した。

ところで、江戸期の九州の石造アーチ橋建設に従事した石工の中に、九州以外の石工で備前（岡山）石工の集団の記録が残されている。この備前石工の集団は、「勘五郎」を棟梁とする10人程の集団で、文政年間に肥後国や豊後国で10数橋の石造アーチ橋の建設に携わっていた。陸続きでもない、石造アーチ橋がほとんど見られない備前国からわざわざ九州まで来て、なぜ石造アーチ橋を建設したのか謎である。

備前国といえば、江戸初期より新田開発のための干拓工事が盛んに行われていた所であるが、江戸後期にはほとんど干拓工事が行われなくなった。そこで、この干拓工事で身につけた石切り技術を持った石工集団が、新たな仕事先として江戸後期に干拓工事が盛んとなつた九州へ渡ったものと考えられる。彼らは、平野部の干拓工事の一環として石造アーチ橋の建設技術を地元（九州）の石工から伝授され、いつしか山間部の渓谷にまで石造アーチ橋を建設できる技術を身につけたようである。

これまで、九州の石造アーチ橋の建設技術は、九州に根差した特有の技術であると思われていた。しかし、備前石工が九州で活躍していた記録が残されていることから、備前の技術が九州の石造建造物の建設技術に何らかの影響を与えていると考えられる。

（図-1） 熊門寺橋 構造断面図



【備前石工 茂吉 勘五郎 文政10年(1827)建設】

### 3 石造アーチ橋の調査結果を今後に

湯浅さんが「橋の日」は、“人と人との心と心の懸け橋である”とよく言われるが、正にその通りだと思う。江戸時代に生活していた庶民は、川が氾濫し洪水が起こるたびに流されていた「板橋」や「土橋」を見て、永久に残る橋は出来ないかと考えていた。その永久に残る橋を石橋でできないか、谷深い渓谷に渡せないか、川幅の広い場所に渡せないか等、様々な課題に工夫を重ねながら建設してきた。これは、建設に携わった石工だけの業績ではなく、企画・立案した庄屋や役人、建設費用を工面した人々、仮設工事（支保工）を行った大工など、様々な人々の協力で完成したものである。このことは、昔も現在も未来も変わることのないことである。今後の調査を通して、橋の構造的な素晴らしさや文化財としての価値ばかりでなく、橋建設に関わった人々の思いも未来へ語っていきたいと思う。

宮崎工業高校教諭 稲用 光治

# 橋の日20周年を迎えて

橋の日に参加したきっかけは、延岡で橋の日が開催されるとのことで、勤務する「株式会社ながと」で参加したのが始まりでした。

橋のスタンプラリーや安賀多橋にパラソルを立てたことが、この前のように思い出されます。

その後も「延岡橋の日」に毎年参加していました。そして、会社の宮崎支店への勤務が縁で、「宮崎橋の日」の事務局として協力させていただいている。

宮崎では過去17回参加していますが毎年8月4日は、ほぼ晴れの日が多かったように思います。

台風が1回。雨の日は3回、ちなみに第20回は、雨でしたが式典からは、雨が止んだことが印象的な橋の日でした。

イベント会場も、橘橋の親柱付近（北詰め）がメイン会場ですが、宮崎市役所の協力にて、市役所前広場でも2回開催させていただきました。

雨天会場として、橘橋下を利用したこともありました。

この20年間に宮崎学園の生徒さん、宮崎県産業開発青年隊、橘通1丁目商店街の皆さん、行政、橋梁関連のメーカー他、関係団体を含めると延5,000名の方々に、参加した計算となります。

単純に参加人数だけでは計れませんが、多くの方々の参加により実施された行事なのだと改めて振り返っています。

橋の日行事では、それぞれ仕事をもっている中ではありますが、会員一丸となって、市役所前にアドバルーンを上げたり、橘橋や宮崎大橋にのぼりを100本設置したり、講演会やパネル展の開催、ポスター配付、インターネットによる情報発信など、さまざまな企画で橋の日を実施してきました。

会員の皆さんのご協力に感謝申し上げます。

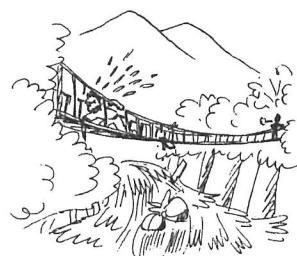
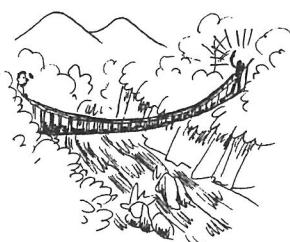
また、これまで続けられたのは、長年にわたりご協力いただいた関係機関の皆さんのお陰です。紙面を借りて、本当に有り難うございますと御札をのべさせていただきます。

今期は、20周年の節目として、企画した「橋の日サミットinみやざき2006」も成功裡に終わり、当会の目的のひとつ「全国へ広げよう橋の日を」という目的も、すこしづつ姿が見えてきたように感じます。

これからも、さまざまな橋の日行事を通して、豊かな地域づくりのお手伝いができるればと思います。今後ともよろしくお願ひします。

橋の日事務局 鶴羽 浩

# 橋の日 活動写真集



## 1987年 第1回(昭和62年)

- ラジオ体操(宮崎市役所前噴水広場)
- 橋橋、河川敷清掃
- 風船メッセージ付飛放

## 1988年 第2回(昭和63年)

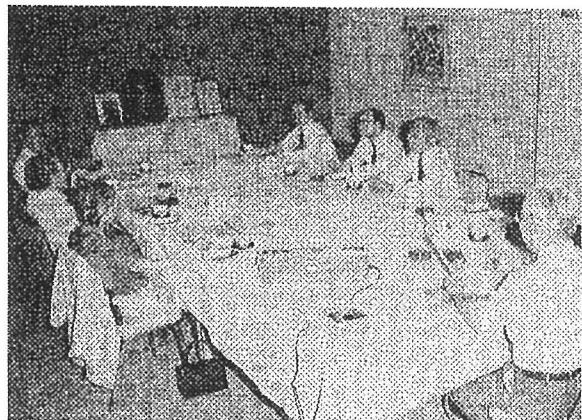
- 橋、河川講話(宮崎土木事務所 岡山義人次長)
- 小学生 橋、河川について作文朗読  
(小戸小学校五年 城 磨美さん、同六年 河野 将貴君)
- 幼稚園児演奏会(江南幼稚園)
- 大学生吹奏楽部演奏会(宮崎大学)
- 風船メッセージ付飛放
- 橋橋、河川敷清掃
- 大淀川へ稚魚放流

## 1989年 第3回(平成元年)

- 橋橋、河川敷清掃
- 小学生・中学生 橋、河川について作文朗読  
(小戸小学校三年 中村 裕也君、鹿児島市立甲東中学校二年 中間 小織さん)
- 大淀川へ幼魚放流
- 幼稚園児演奏会(芳士幼稚園)
- 風船メッセージ付飛放
- 橋、河川講話(実行委員講話)
- 橋の写真展第1回(宮交シティー)

# 1990年 第4回(平成2年)

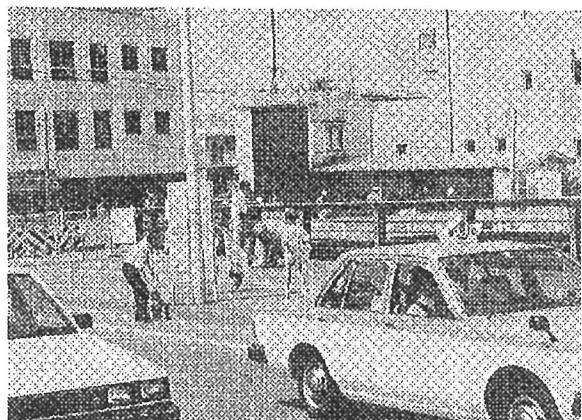
- ・橋の日新聞発行第1号(橋橋物語、座談会開催)
- ・橋の写真展第2回(宮交シティー)
- ・風船メッセージ付飛放
- ・橋への献花
- ・橋橋、河川敷清掃



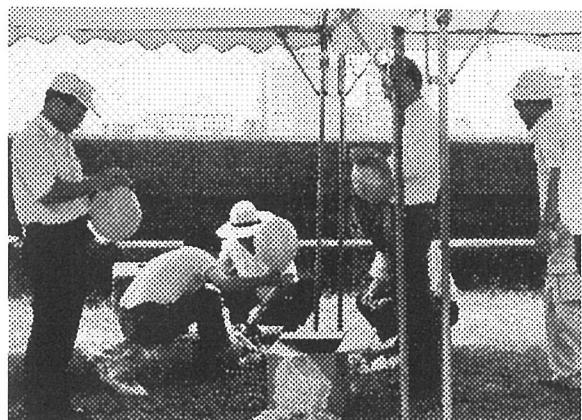
第1回 橋の日座談会



橋の日パネル展(於 宮交シティ)



清掃時はいつも暑い



あと何個かな~。



平成2年度 宮崎橋の日記念 平成2年8月4日 於 宮崎新橋頭

はいポーズ

## 1991年 第5回(平成3年) 宮崎市役所前噴水広場

- ・橋の日新聞発行第2号(橋の日座談会開催)
- ・橋の日の歌を制作、宮崎少年少女合唱団の歌にて発表(作詞:湯浅利彦 作曲:斎藤正浩)
- ・ふれあいコンサート(宮崎少年少女合唱団)
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”



橋の日の歌 制作発表



橋の日を作曲された斎藤先生



テント設営も苦労しましたネ



川風は気持ちいいな～



初めて市役所の前でイベントを開催。

参加300名でした。



アドバルーンが高く上がります。

## 1992年 第6回(平成4年)

- ・橋の日新聞発行第3号(橋の日座談会開催)
- ・橋の日の歌テープ贈呈(宮崎市教育長 )
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”



風鈴橋!? 誕生



親柱そばでの演奏会



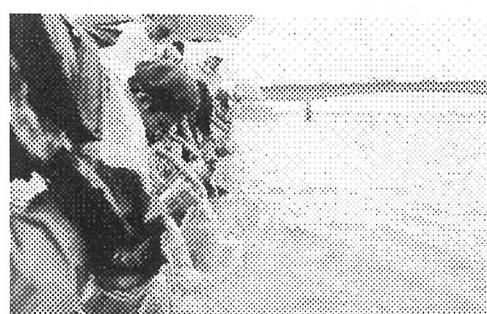
第2回 橋の日座談会



台風の為、1時間後撤収



橋の日の歌 贈呈



大きくなって帰って来てね。



よく降りますなあ…

# 1993年 第7回(平成5年)

- ・橋の日シンボルマーク全国公募、305点の中から選定  
作者 斎藤正江さん(神奈川県)記念にテレホンカードを製作 100枚
- ・橋の日新聞発行第4号(橋の日座談会開催)
- ・橋橋を詠んだ歌人長塚 節の「朝まだき」に曲をつけ発表  
(作曲 斎藤正浩)歌:宮崎学園高校合唱部
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”



全国から305点の応募がありました



大いに盛り上りました



シンボルマーク決定



どっちがどっち



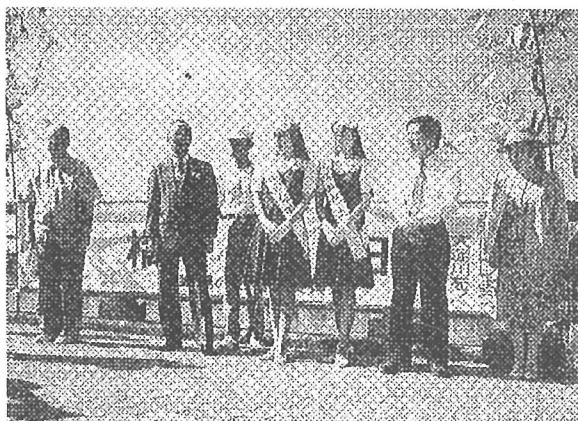
はいポーズ



MRT放送スクーピーも駆けつけた

## 1994年 第8回(平成6年)

- ・日本記念日協会より「8月4日＝橋の日」の認定書が届く
- ・橋の日新聞発行第5号(橋の日座談会開催)
- ・橋の日コンサート(宮崎少年少女合唱団・橋太鼓響座・日向太鼓)
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”



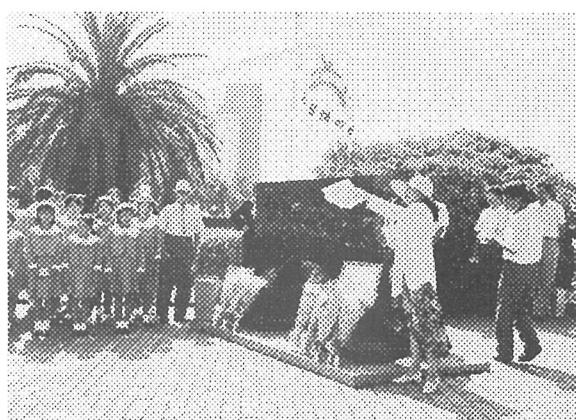
たくさんの方々に献花いただきました



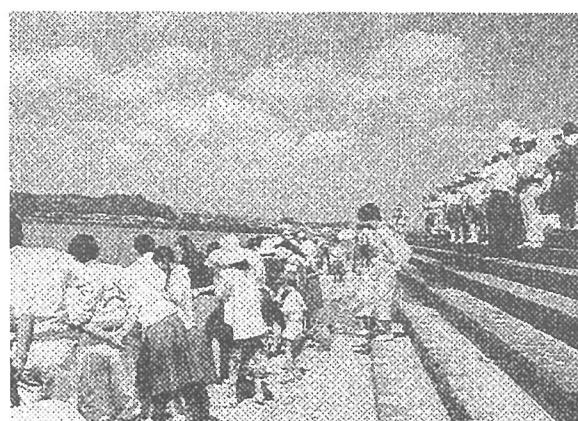
朝まだきの作曲完成(斎藤様御夫妻)



朝まだきの制作発表



日本記念日協会から橋の日認定状届く



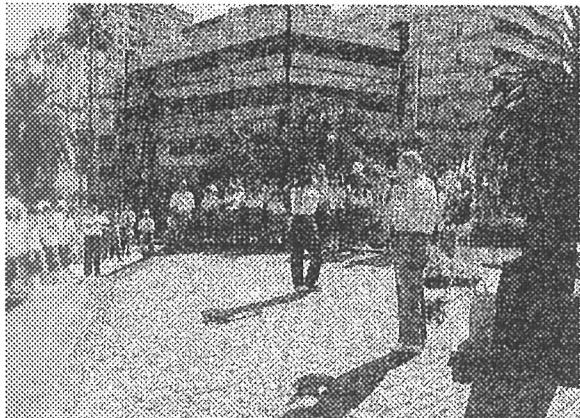
400名が参加



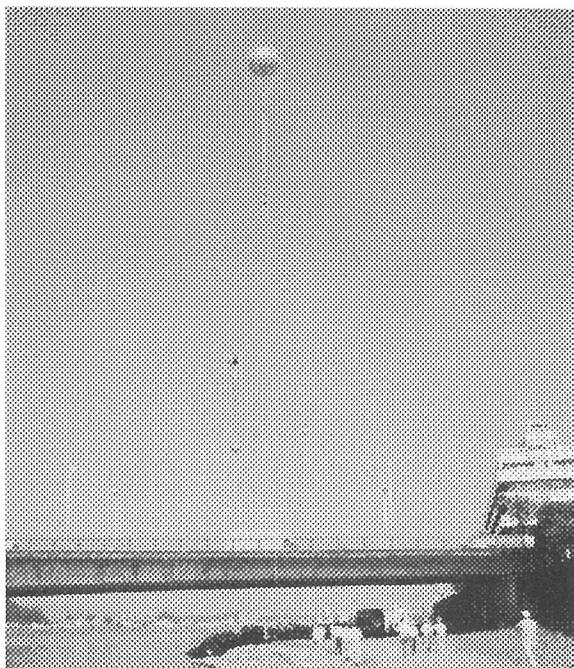
収穫!?

## 1995年 第9回(平成7年)

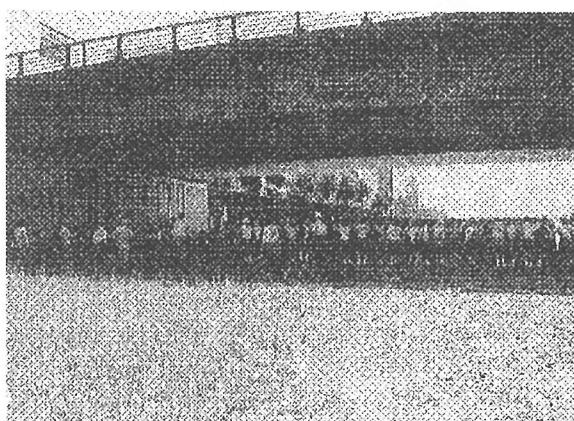
- ・橋の日新聞発行第6号(橋の日座談会開催)
- ・橋の日コンサート(大塚中吹奏楽部)
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”



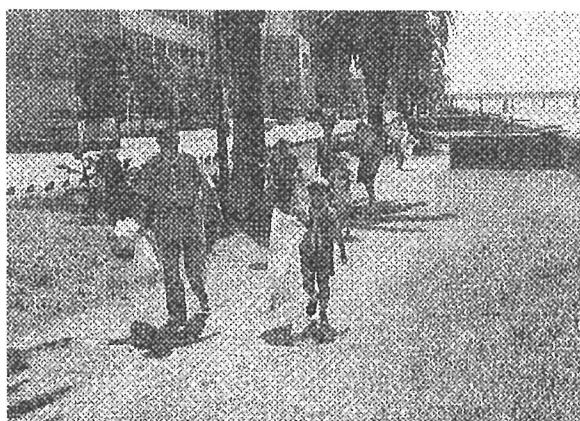
久しぶりの橋下コンサート  
結構広いです。



風のない8月4日



たくさん集まった?



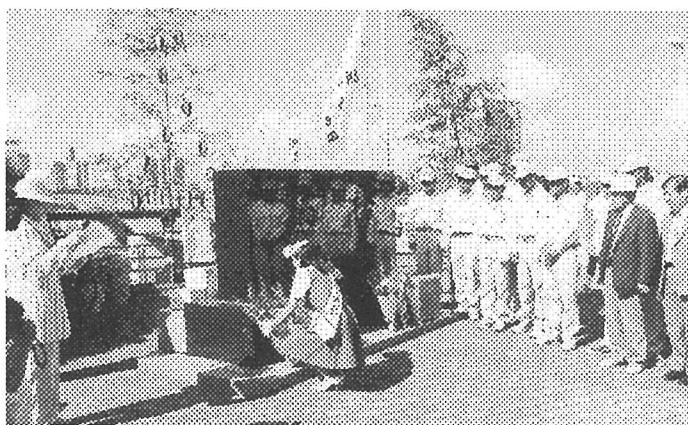
おつかれさま



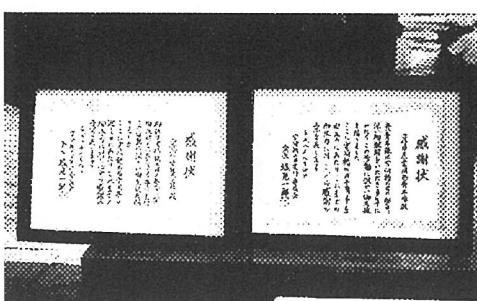
橋の日 座談会より

## 1996年 第10回(平成8年)

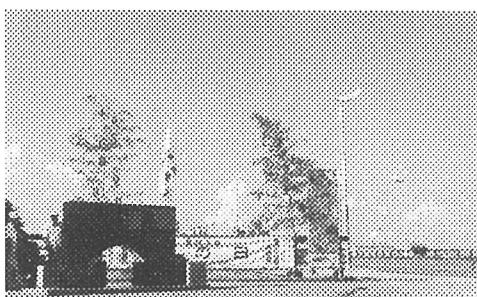
- ・橋の日コンサート(橋太鼓 韶座・宮崎学園高校)
- ・協力団体への感謝状贈呈
- ・橋の日パネル展(於 宮日会館)
- ・橋の日活動10周年記念誌、及び橋の日新聞の発行
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”



10周年記念式



5団体に感謝状を贈る



毎年賑やかになる橋の日



橋の日パネル展(宮日会館)



2万匹にびっくり



暑さを吹き飛ばそう

# 1997年 第11回(平成9年)

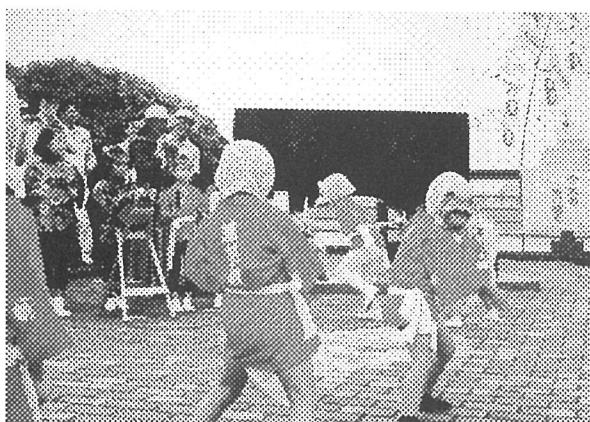
- ・橋の日記念講演会「橋橋と宮崎の街づくり」講師 田代 学 (於:JA-AZMホール)
- ・ホームページにて情報発信開始
- ・橋の日まつり(子どもひよっこ若芽会・橋太鼓 韶座)
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”



橋の日記念講演会 受付



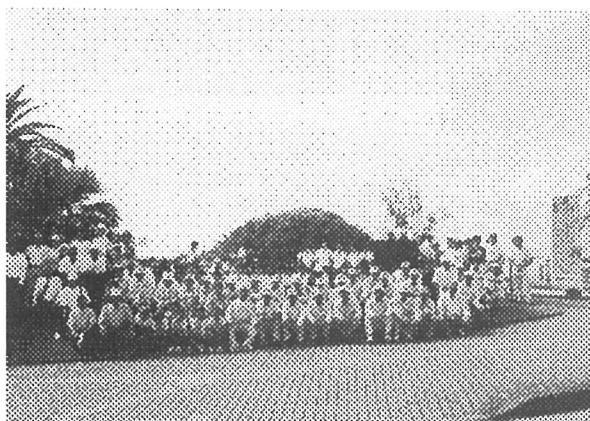
橋の日記念講演会



子どもひよっこ若芽会



ホームページにて情報発信開始



みんな集合



大淀川をきれいに “魚の放流”

# 1998年 第12回(平成10年)

- ・橋橋の100年展と福島邦成パネル展(於:宮交シティ ガリバー広場)
- ・一彼の生きた江戸・明治時代の日本・宮崎一
- ・橋の日コンサート(宮崎少年少女合唱団)
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”



橋橋の写真展と福島邦成紹介パネル展

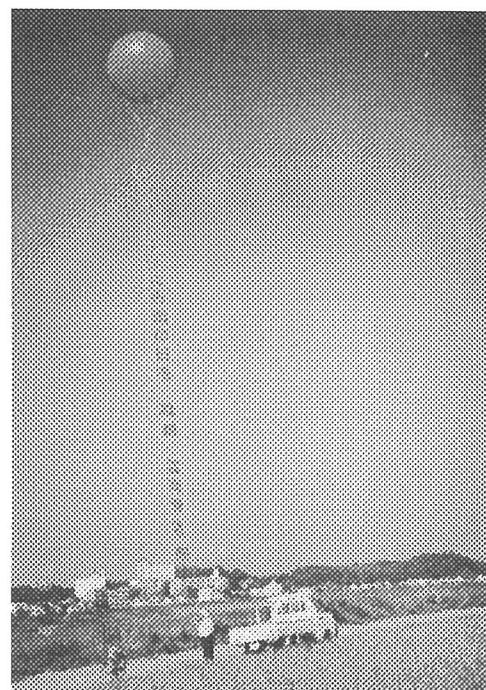


福島順一さん夫妻に花束贈呈。



福島邦成 没後100年記念 1998年8月4日

記念撮影



アドバルーンは毎年上げています



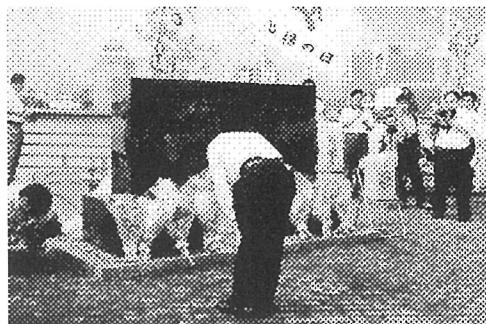
橋の日PRチラシ

# 1999年 第13回(平成11年)

- ・橋の日コンサート(橋太鼓響座)
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・橋橋ウォッキング&ウォーキング
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”



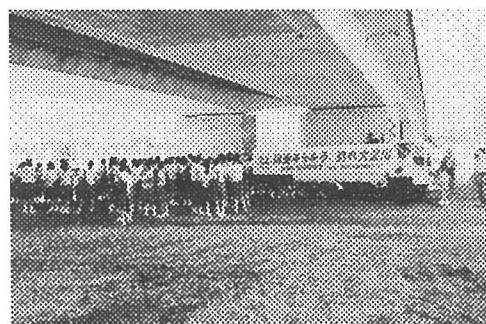
看板、横断幕にてPR。



橋橋への献花



取材を受ける事務局長



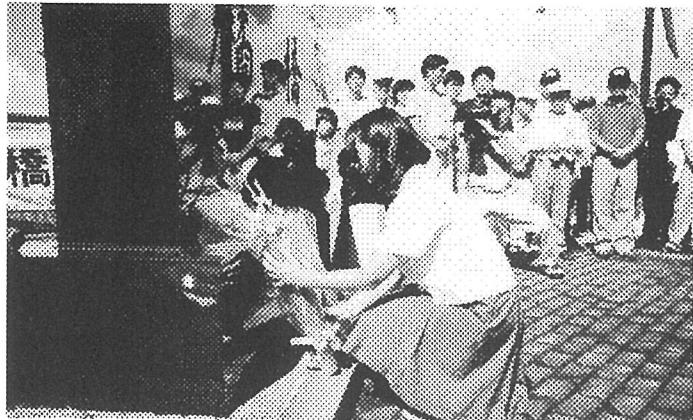
魚の放流



集合記念写真

# 2000年 第14回(平成12年)

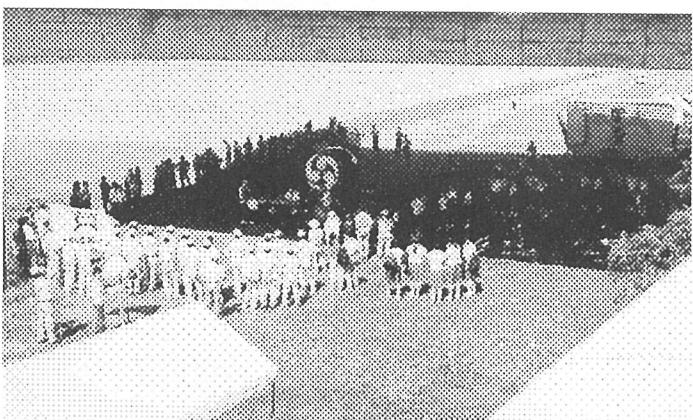
- ・橋の日コンサート(宮崎弦楽四重奏団、宮崎少年少女合唱団)
- ・インターネットホームページ 橋の日懸賞クイズ実施 3,847名応募
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・橋橋ウォッキング&ウォーキング
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”



橋橋への献花



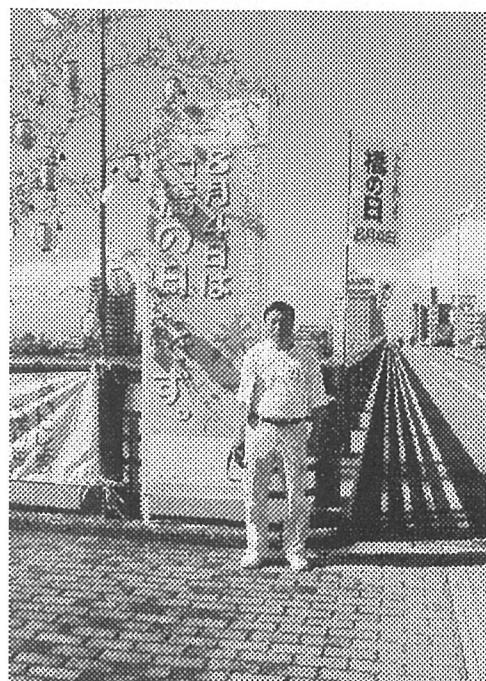
宮崎弦楽四重奏団



橋太鼓 韻座演奏



橋の日PRチラシ



橋の日 提唱者 湯浅さん

## 2001年 第15回(平成13年)

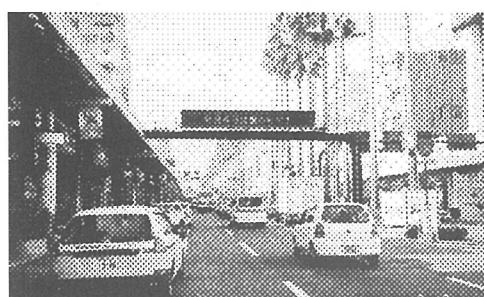
- ・宮崎県内の石橋ポスター作成(1200枚 B2サイズ) 県下全学校・施設へ配布
- ・インターネットホームページ 橋の日懸賞クイズ実施 9,600名応募
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アーチバルーン等にてPR ラジオ出演(サンシャインFM)
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・橋橋ウォッキング&ウォーキング
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”



会議風景



魚の放流 横断幕



電照掲示板で告知



宮崎少年少女合唱団



参加記念品配布



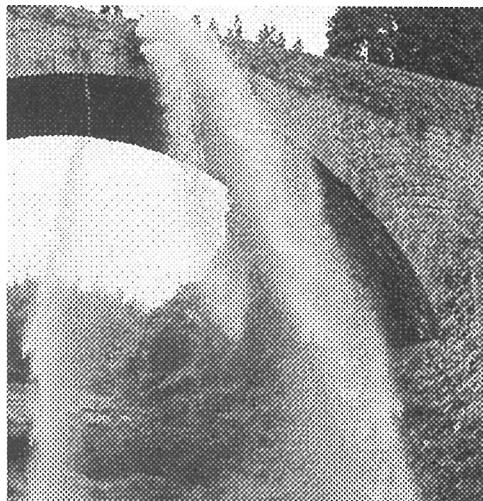
宮崎県内の石橋ポスター制作

# 2002年 第16回(平成14年)

- ・「橋の日」記念作文募集(優秀賞 宮崎小学校6年 甲山絵莉香さん)
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・インターネットホームページ 橋の日懸賞クイズ実施 3,908名応募
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋ウォッキング&ウォーキング
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”
- ・熊本石橋見学ツアーの開催(9月7日～8日)



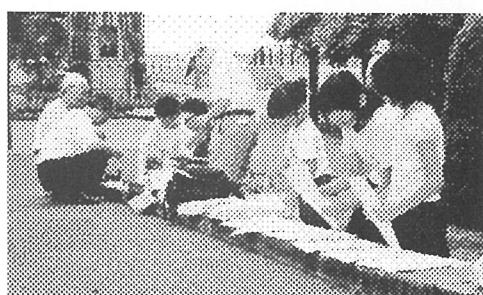
橋の日パレード



石橋ツアーより



シーカヤックも参加



準備風景



全員集合～!!



橋の日 作文発表



魚の放流

## 2003年 第17回(平成15年)

- ・宮崎の橋101選ポスター企画 県内より303橋の推薦があり  
101橋を選出(2000枚印刷)県下全学校・施設へ配布
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・橋橋ウォッキング&ウォーキング
- ・ケーブルテレビ「5時生テレビ」にて出演し、橋の日を紹介(事務局)
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”
- ・矢部の八朔祭参加



みんなでアピール！



橋通ウォーキング



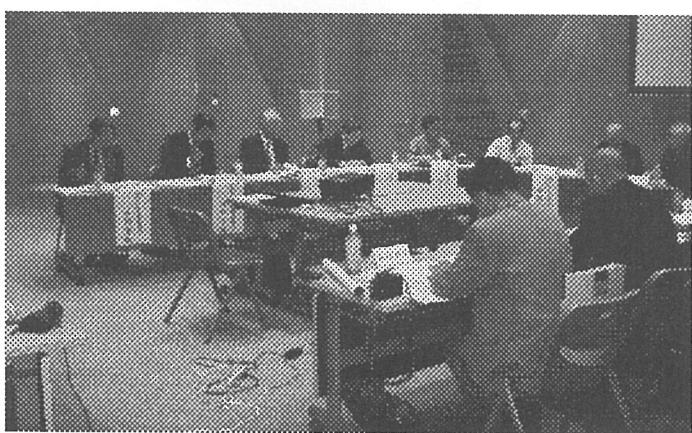
国土交通省所長より挨拶



橋への獻花



大きくなって帰って来てね。



ポスター審査風景



ポスター審査員の皆さん

## 2004年 第18回(平成16年) 雨で橋橋下にて式典開催

- ・「橋の日」記念作文募集(優秀賞 まちとまちをつなぐ橋 宮崎市立宮崎港小学校 6年 田辺 麻奈子さん)
- ・インターネットホームページ 橋の日懸賞クイズ実施 3,580名応募
- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・橋橋ウォッキング&ウォーキング
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”
- ・大分石橋見学ツアーへの参加



横山副会長より挨拶



橋の日記念作文発表



子どもたちによる献花



おつかれさまでした。



みんなで記念撮影



魚の放流

## 2005年 第19回(平成17年)

- ・橋の日PR横断幕・看板・のぼり・アドバルーン等にてPR
- ・橋への献花
- ・橋橋周辺及び大淀川河川敷の清掃奉仕
- ・橋橋ウォッキング&ウォーキング
- ・宮日文化情報誌「らぴあ」に、橋の日提唱者 湯浅利彦氏が紹介される。
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”
- ・大分石橋ツアーへの参加



横断幕でPR



のぼりでPR



橋橋への献花



魚の放流



みんなで集合写真

# 2006年 第20回(平成18年)

- ・橋の日サミットinみやざきの開催
- ・大淀川をきれいに“魚の放流”
- ・永年協力団体への表彰
- ・ラジオ出演(MRTラジオ、サンシャインFM)
- ・観光みやざき(宮崎県観光協会発行)橋の日が紹介される。
- ・日本橋梁新聞より「ブリッジオブザイヤー」に 橋の日提唱者 湯浅利彦氏が選ばれる
- ・活動20周年写真・資料展の開催
- ・橋の日ウォッチング&ウォーキング
- ・橋への献花
- ・橋の日PR横断幕・看板・アドバルーン等にてPR
- ・活動20周年記念誌の発行



橋の日サミット in みやざきの開催



橋の日パレード



感謝状の贈呈



天満橋開通イベントに協力



橋橋への獻花



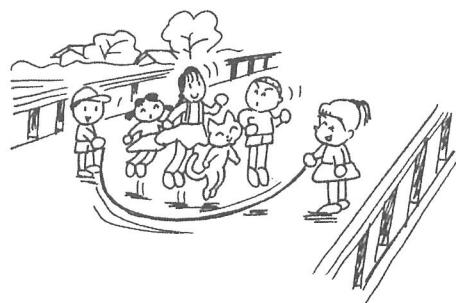
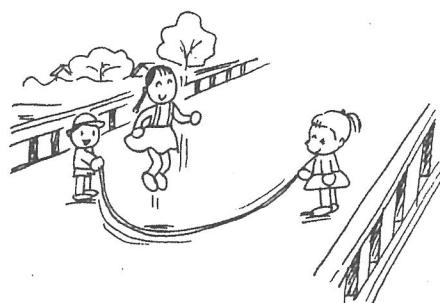
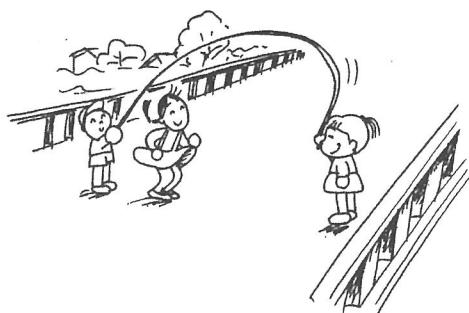
じゃんけん大会は大盛況(天満橋)



魚の放流



# 主な活動記録





## 橋の日活動 主な歩み(全国)

- 1985年 「8月4日・橋の日」を湯浅利彦氏(延岡市出身)が提唱。
- 1986年 第1回 橋の日が、延岡市大瀬川に架かる安賀多橋で開催される。
- 1987年 宮崎市で第1回橋の日が大淀川に架かる橋橋で開催される。
- 1989年 日本経済新聞(全国版)にて人欄に橋の日提唱者湯浅氏紹介される。
- 1991年 「橋の日の歌」作詞湯浅利彦 作曲斎藤正浩を宮崎少年少女合唱団により披露。
- 1992年 奈良県十津川村の十津川に架かる「谷瀬吊橋」で橋の日を開催。  
橋上太鼓演奏(揺れ太鼓)などのイベントが行われる。
- 1993年 橋の日シンボルマークを募集。  
全国から305点の応募があり、神奈川県の斎藤正江氏の作品が選ばれる。
- 1994年 日本記念日協会より「8月4日・橋の日」が認定される。  
福岡市多々良川に架かる「名島橋の還暦」を祝う第1回の橋の日イベントが行われる。
- 1996年 鹿児島市の甲突川に架かる「天保山大橋」で第1回の橋の日イベントが行われる。  
宮崎橋の日10周年を迎え、記念誌を発行、記念イベント開催。
- 1997年 富山県で第1回橋の日イベント開催。
- 2000年 新潟県・石川県・富山県で「ほくりく橋の日」が開催される。
- 2001年 宮崎橋の日実行委員会にて「宮崎の石橋ポスター」を製作。
- 2002年 鹿児島橋の日推進協議会が、平成13年度河川愛護運動に係わる「県知事賞」を受賞。
- 2003年 東京都足立区の隅田川に架かる「千住大橋」で第1回橋の日が開催される。  
通潤橋(熊本県・五老滝川)猿橋(山梨県・桂川)で第1回橋の日が開催される。  
宮崎橋の日実行委員会にて「宮崎の橋101選ポスター」を製作。
- 2005年 錦帯橋(山口県・錦川)幣舞(ぬさまい)橋(北海道釧路川)で第1回橋の日が開催される。  
延岡橋の日実行委員会が「第41回宮崎日日新聞・社会賞」を受賞。
- 2006年 橋の日サミットinみやざき2006開催。  
蓬莱橋(静岡県・大井川)御幸の橋(愛媛県・河辺川)で第1回橋の日が開催される。  
橋梁新聞社「橋梁新聞賞」を橋の日提唱者湯浅利彦氏が受賞。

# 橋の日サミット in みやざき2006について

平成18年8月18日(金曜日)宮崎市市民文化センターに於いて、150名の参加にて開催しました。併せて、橋の日活動写真&資料展も行いました。

第一部では、塩見会長より歓迎の挨拶の後、記念講演として「ほくりく橋の日の取り組み」と題して、ほくりく橋の日実行委員会より、廣松 新氏(国土交通省北陸地方整備局道路部地域道路課長)より、ほくりく橋の日の取組についてお話をいただきました。

新潟県の重要文化財「萬代橋」など、北陸三県の橋を紹介していただいた。また、小学生が割り箸で橋の模型を作る「はしの橋コンテスト」の紹介や橋のデザイン画審査、橋の見学ツアー等の活動を通して、橋の日をPRする活動の成果をお話をいただきました。

第二部では、当会のテーマソング「橋の日の歌(川・橋・そして人)として、大城光恵さん(宮崎市出身)より素敵な歌の数々をスペシャルライブということで、楽しませていただきました。

大城さんは、高校在学中、第24回ポピュラーソングコンテストで提供楽曲がグランプリを受賞、また第13回世界歌謡祭でも同曲が入賞を果たし、プロデビューを飾り、現在宮崎県内で活動をしています。懐かしい曲も織り交ぜ、楽しいライブとなりました。

その後、橋の日パネルトーク「橋から見る地域づくりとロマン」のテーマのもと、全国で橋の日活動を取り組まれている方々6名に参加していただいた、また、廣松氏からは意見交換をおこないました。

提唱された湯浅利彦氏からは、橋の日を考えたきっかけや主旨についてお話をいただきました。

東京都千住大橋を中心に活動されている千住文化普及会代表のいちはら文夫氏からは、橋の日の活動は今年で4回目となった橋の日活動の紹介や、毎月第一土曜日におこなっている千住大橋の奉仕 町の先輩として子ども達への地域づくりへの参加を呼び掛ける活動をおこなっていることを紹介していただきました。また記念講演で話された廣松氏からは、ほくりく橋の日の取り組みについて、「知る」「つくる」「考える」をキーワードに活動されていることや更にくわしい活動状況をお話をいただきました。

奈良県十津川村からこられたOMC十津川にて鼓倶楽部"鼓魂"尾中さとみ氏からは、今年で結成16年目を迎えた活動の紹介や、鼓魂が始めた8月4日に行われる吊り橋まつり「揺れ太鼓」は、空中パフォーマンスショー「天空の響き」とも言われ、村の観光名所の一つ、長さ297.7m高さ54mの谷瀬吊り橋の上で、揺れながら太鼓を叩くところからそう名付けられましたこと等が紹介されました。

鹿児島橋の日推進協議会の市坪氏からは、平成8年に第1回橋の日を鹿児島市甲突く川の天保山大橋から旧天保山橋で清掃を行って以来、11年間の活動を紹介いただきました。

鹿児島県内の建設業関連団体でつくるこの協議会では、「橋と川の大切さ」を発会以来訴えており、平成5年の大水害で鹿児島市をはじめ県下各地で橋が流失した歴史も踏まえ、この橋の日運動を全県的な運動にしようと取り組んでおり、毎年500名規模での活動についての紹介がありました。

毎年続けている橋のスケッチ大会では、絵の具の洗い水の処理についても、汚れたものを川に流さない工夫について等さまざまな活動の課題を話していただきました。

全体的には、イベントを続けていく上で、資金的な面、地域の方々との連携をどう図るか、賛同者や参加者をどう増やすか等、活動の曲がり角に来ていることが共通の認識であることが確認されました。

今後は、一年を通じてどう活動の輪を広げるか、10年後を考えた活動をどう展開するかを考えようとの意見も出され、再度にサミット宣言として3つの活動方針が発表されました。



橋の日サミット 開会式



橋の日パネルトーク



ほくりく橋の日の取組について。



会場でのさまざまな意見



橋の日の歌を披露、

## 橋の日サミット宣言

- 「橋の日」を通して、豊かな地域づくりを進めます。
- 「橋の日」活動充実の為、情報と人の交流を図ります。
- 全国に「橋の日」の輪を拡げます。

今回、初めて全国レベルの情報交換を行いましたが、活動の様子や活動されている皆さんと顔を合わせたことは、大変有効だったと思います。参加者全員で、今後更にネットワークを深め、有意義な活動をしていくことを再認識いたしました。ご協力いただいたパネラーの皆さん、参加された皆さん、御支援いただいている方々、本当にありがとうございました。

# 宮崎の橋「101選」ポスター企画

101選ポスターの画像を掲載すること。



(審査風景)

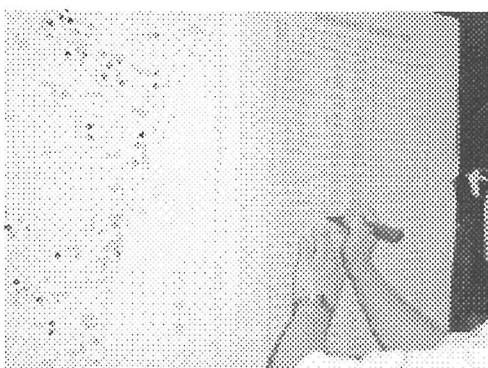
## 目的

宮崎県内の橋の中から、機能性や美観・構造・歴史的な視点で「101」の橋選び、観光や教育、地域づくりに活用する為、ポスター形式で発表するものです。実行委員会では、選考委員会を組織し、県内の各機関、企業、個人より募集をおこないました。

## 選考委員長よりあいさつ

皆様におかれましては、日頃より「橋の日」活動にご理解とご協力をいただき、重ねて御礼申し上げます。

さて、今回の企画では、この選考会を通して選ばれた「橋」をポスター形式で発表し、県民の皆さんに、「さまざまな橋」への関心を寄せさせていただき、橋の美しさや技術力などはもとより、県内の景観の素晴らしさを再発見することで、更に郷土宮崎を愛する一助となればと考えております。



## 選考を終えて

県内の個人・各市町村や企業から、360 橋もの応募がありました。

工法や美観、地域を考慮しながら、審査していただき 101 橋を選びました。特に、最終段階での選考は、長時間にわたりました。

# 宮崎の石橋ポスター制作について

平成12年、岡崎文雄著、「宮崎県の石造アーチ橋」が発行されることを聞いた。

そこで、大分県に住んでいらっしゃるとお聞きし、橋の日実行委員会メンバーで訪問することになりました。

そして、岡崎さんの出版される冊子を見せていただいたが、丹念にして詳細にまとめてあることに実行委員会一同感動いたしました。

そこで、ぜひ多くの方々に石橋の存在を知っていただこうと考えました。

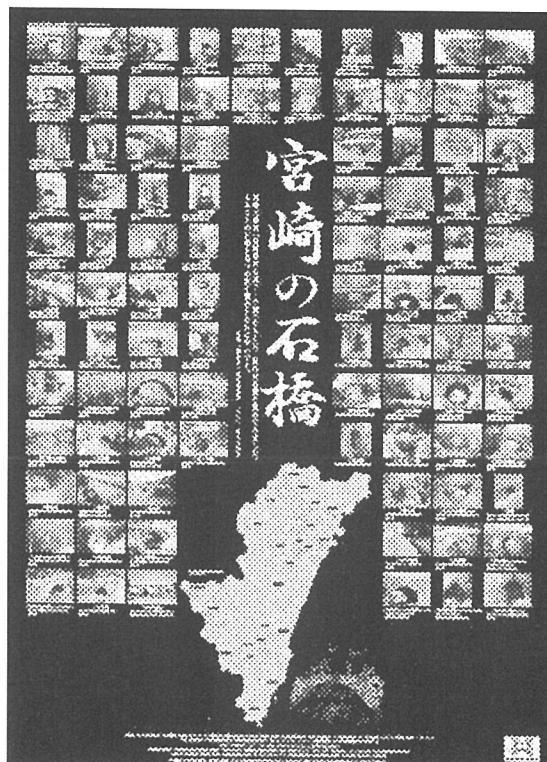
より多く県民の皆さんに知つてもらうにはどうしたら良いのかを実行委員会にて協議した結果、ポスター形式にして、発表することになりました。

そして、出版された岡崎さんはもとより、多くのスポンサーのご協力を得て、1,000枚のポスターを制作し、県内の小中高校や各市町村、関係機関に配付いたしましたが、多くの方より喜んでいただきました。

その後、テレビや新聞、さまざまな団体で「石橋」を取り上げていただくことが多くなり、地域の皆さんの故郷についての想いや、石橋への興味の高さを再認識いたしました。

現在、宮崎で発見されている石橋は150橋を越えるものとなっており、今後はそれらをどう紹介していくかが課題ではありますが、皆さまのご指導ご助言をいただきながら、更に喜ばれる活動を続けてまいりたいと考えています。

※現在、石橋ポスターの在庫はありません。「宮崎県の石造アーチ橋」岡崎文雄著は宮崎県立図書館で閲覧することができます。

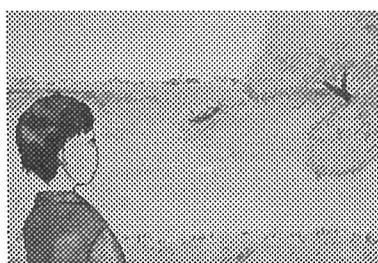




## 紙芝居「福島邦成と橋橋」

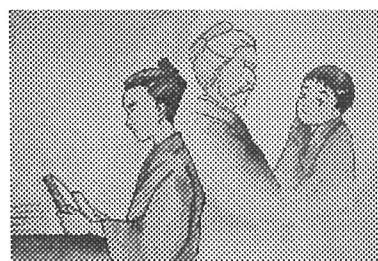
平成18年4月天満橋の開通イベントを合わせ、ふるさとの橋を見つめ直す機会になればと、紙芝居を制作しました。

紙面にてご紹介したいと思います。



### (① 渡し舟と大淀川)

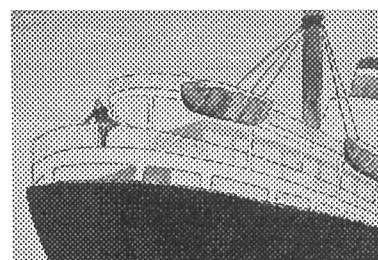
大淀川は、渡し舟は便利だけど、大雨や台風のときは使えない。いつでも、すぐ病気の人にかけつけ、助ける方法はないのかなあ・・・。お医者さんだったお父さんに連れられて、大淀川を船で渡るこどもは、いつもそう思っていました。この少年は、福島邦成という人で、大淀川に初めて「橋橋」をかけた人です。



### (②江戸で学ぶ)

ただいま～。お帰りなさい。大田村のお医者の子に生まれた邦成少年。いつも元気いっぱいに遊んでいます。おじいちゃんの口癖は、「邦成、日本の先端を学んで、故郷に活かせ」。邦成少年も、一生懸命勉強して立派な人になりたいと思うようになりました。

そして、早くから江戸や大阪で勉強をし、西洋の進んだ文明を学びました。



### (③医師なった福島邦成)

大人になった福島邦成は、延岡藩の医師として務めました。時は流れ、武士の時代から民衆の時代になった明治維新。邦成は、50歳になっていました。東京にもでかけて新しい日本を学びます。また、世界を学ぼうと旅行に出かけました。そして、ある日宮崎へと帰ってきました。

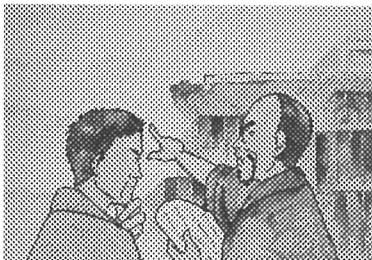


#### (④架橋願いは届かず)

宮崎に帰ってきてびっくりしました。「あれ一橋がまだ架かっていない……。」

東京や大阪では、大きな川にも立派な橋が架かっているのに、宮崎にはまだ……。

日本の先端を見てきた邦成は、あまりの差にびっくりしました。そして、これではダメだと思った邦成は、当時の県知事を訪ねて橋を架ける工事のお願いをしたのですが、さまざまな理由から話を聞き入れてもらえませんでした。



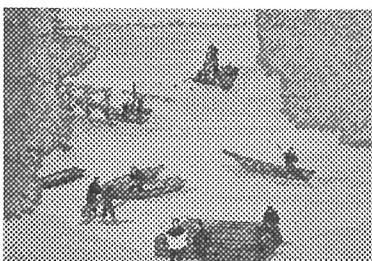
#### (⑤蒸気船の購入)

いろんなことを考えた邦成は、独力で橋を架けることを思いつきましたが、個人で、その上独力で架けようという事に対して県から信じてもらえなかった邦成は、それでもこのままではと宮崎が更に遅れてしまうと感じたのです。

そこで、まず仲間達と蒸気船を買い、「日向丸」と名づけ、海を利用して貨物運送を始めたのです。

そんな努力が認められ、3年後の後。

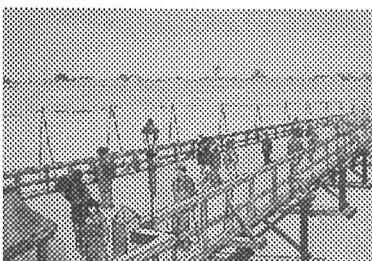
明治13年3月10日、念願だった橋の建設許可が降りました。



#### (⑥橋の工事)

しかし、建設のためには、約360メートルをつなぐ高度な技術とお金がかかるのです。

実際、川底を掘ってみると岩や泥土、凹凸で工事が遅れます。そして、現在のお金にして8千万円の費用がかかりました。人夫延2,600人。鍛冶屋のつくった釘16,000本が使われたといわれています。



#### (⑦橋の完成と邦成)

明治13年4月に、子どもの頃からの夢を叶えました。

橋が完成したのです。邦成はこの橋を、「橋橋」と名づけました。長さ約350メートル、幅3.9メートル、高さ3.2メートルの橋です。完成後、大水の度に、橋橋に見いでかけ、水量を測定、危険であれば、通行禁止を届け出たり、また壊れたときには、修理をしました。人々が橋橋を安全に通行するために絶えず気を配っていたのです。

橋をかけてから4年目の明治17年、宮崎県により新しい、橋橋が架けられ、便利になりましたが、この間、延44万人が利用したといわれています。

今、大淀川にかかっている橋は、6代目。みんなの暮らしを支えるこの橋は、一人のお医者さんのふるさとを愛する気持ちから生まれたものです。

# 「橋に関する作文」優秀賞紹介(テーマ：人・街・夢をつなぐ橋)

2002年 優秀賞

## こんな橋があつたらいいな。 宮崎市立宮崎小学校 6年 甲山 絵梨香

わたしは、こんな橋があつたらいいなあと思うことが5つあります。  
まずひとつめは、みんながゆかいになる橋です。例えば、きげんが悪いときに、その橋に乗ればゆかいな気持ちになれて、心も広く、やさしくなればいいなと思ってるからです。  
みんなやさしくなればいいやな事なんて、ないなあと思います。

2つめの橋は、水族館風に楽しめる橋です。  
水族館風に、ガラスのかべが張ってある橋だと、だれもポイ捨てはできないから、きれいな川を保てます。だから、みんながきれいな川を見ながら橋をわたると、とっても気持ちがよくなると思います。

3つめの橋は、行きたいところに行ける橋です。まず橋をわたる前に行き先を言って、その行きたかった場所に着いているというのです。それだったら、みんなが行きたかった場所で、ゆっくり過ごせるからです。

4つめの橋は、過去・未来橋です。その人が何年後の未来に行きたい!といえば行ける橋です。過去に失敗したことがあって、もう一度、それをやりたいとか、自分で何でもできるという夢のような橋です。

最後に5つめの橋として無事故の橋というのもあればぜったいにいいはずです。だって、事故でいっぱいの人が亡くなると、とっても悲しいからです。  
どんどん人が生まれて人がふえていった方が、ゆかいになるからです。  
無事故の橋というのは、あまりおそすぎないで、あまりスピードを出しすぎることができない整備になっている橋のことです。そしてその橋は、前の車と後ろの車とのかんかくがちょうどよくされている整備もついていれば無事故になると思います。

わたしは、こんな、いろいろな橋があつたら、みんながもっと橋を好きになれて、橋を使う人が、もっと多くなるといいなあと思います。そして、もしこんな夢のような橋があれば、私も、橋をつくる人になりたいです。  
もし、橋をつくる人になれば、その私がつくってほしい、今までの中にでてきた5つの橋を、もっとアレンジしたり、また、別の橋をつくれたらいいなあと思っています。  
とっても簡単につくれて、とってもじょうぶな橋というのがあればいいと思います。  
もしそれなら、だれでも気軽につくれて、そして橋がいっぱいふえて、だれもがいろいろな橋を使えるからいいなあと思います。

こんな橋が、いっぱいあれば、みんなももっと橋を大好きになれるのにな!

2004年 優秀賞

## 町と町をつなぐ橋

宮崎市立宮崎港小学校 6年 田辺 麻奈子

わたしには橋に関する思い出がいくつあります。

ひとつ目は市役所の下の土手で見た花火です。右手側には花火、左手側には大よど川にかかるたけばな橋が見えました。

そのときは花火の関係だったのか橋はこんでいて車のサーチライトが橋いっぱいに広がっていてとてもきれいででした。

2つ目は九州と本州を結ぶ橋関門海きょうを車でわたったことでした。

そのときに九州と本州の間の海がおだやかに太陽の光で水面がとてもキラキラしてまるでほう石のように光っていました。

関門海きょうは九州と本州を結ぶ大切な役目をしています。

3つ目は本州と四国を結ぶ瀬戸大橋をわたったことです。何キロメートルもあってとても長かったです。

そこでも海がとてもきれいででした。

とても長かったのでつかれたけどとても良い思い出になりました。

わたしは橋の技術がとてもすごいと思います。橋をがんじょうにしたり、柱をつくるのはすごい技術だと思います。

もし橋がなかったらわたしみたいな楽しい思い出はつくれないと思います。それに不便で川をわたろうとしても船代とかもかかるのでとても大へんです。

橋はわたしたちのかけがえのない大切なたから物です。大きい橋も小さい橋もみんながちゃんとした役目があります。

役目がない橋なんて一つもないと思います。わたしは町と町をつなぐだけではなく、思い出と思い出をつなぐ役目もあると思います。

1989年 優秀賞

## 心の故郷 宮崎の川と橋

鹿児島市立甲東中学校 2年 中間 小織

「大淀川の水豊か……」

私は、つい1年4ヶ月前までは、この、宮崎に住んでおりました。

ですから「大淀川」と聴いただけでゾクゾクする程、なつかしさを覚えます。

宮崎のまん中を、とうとうと流れる雄大で美しい大淀川。

その、大淀川をまたがる沢山の橋、橋橋に高松橋、宮崎大橋に大淀大橋、小戸橋、一ヶ葉大橋……。

どの橋も、想い出のいっぱいいつまたなつかしさがこみあげてくる橋ばかりです。

私は、宮崎市立小松台小学校に在学中、総合的活動で、大淀川について一生懸命いろいろ調査、研究し、友達とそれらをまとめて、「夢のある川」というテーマでいろいろな機会に、学習発表をしたございました。

大淀川の生物探索の結果、汚染の問題提起、私たち子どもの目から見た、河川敷きの夢のある利用法。

建設省の方が、「もし、あなたたちが作るとしたら、この大淀川と河川敷きをどのように設計しますか。思う存分夢のある設計をしてみて下さい。」といわれて、小松台小6年の私達男女6人のグループは、一流の設計士にでもなった気分で、毎日放課後、数枚のパネルにとり組み、理想の夢のある川を製作し発表したこと。

そして、大淀川の生物を通して、命あるものの「生きる」ということを真剣に考え、学び作文に書き、宮崎県の文集に載せてもらったこともありました。

わずか3年間という短い期間ではありましたが、宮崎で学んだ日々は、私にとって、川と橋を見つめる土台となりました。

今、父の仕事の都合で鹿児島に転校し、五大石橋で有名な、甲突川のほとりに住んでいます。朝夕、甲突川を眺め、五大石橋を渡る度に、私は、大淀川を想い浮かべ、橋橋を大淀大橋を想い出しています。

市の中心を流れ、多くの人達に親しまれている点では同じですが、宮崎の橋はどれも立派で大きくてすばらしい橋、というイメージをいただきますが、甲突川にかかる橋は、ほとんどが、今から140年も前、江戸時代に、人々が一個一個石を積み重ねて作ったという石の橋です。

敵が攻めてきたときのために、その、どれか一個の石をとると、橋全体が、バラバラにくずれる仕組みになっているとか聽きます。

140年の風雪に耐え、老朽化し、車がひっきりなしに通るのをみていると、痛々しい感じさえします。

今、鹿児島では、この、歴史ある橋をいかに保存すべきか、また、大雨の洪水と、車の洪水からどのようにして守つたらいいか、やっぱり移転しかないのだろうか、といろん意見が出され、マスコミがとりあげています。

そして、甲突川の近くの小中学校・高校では、ゆとりの時間は、川の清掃をし、愛護会でも、朝早く、甲突川を眺めながらラジオ体操をしたあと、親子で川のそうじをします。

このように児童生徒はもちろん、住民の生活と一体化し、自分たちの川や橋は、自分たちの手で守っていこうという意識がとても強いような気がします。

宮崎から初めて8月4日の「橋の日」を提唱され、全国に運動の輪を広げようとなさっていらっしゃる湯浅さんに、心から賛同すると共に、私にお手伝い出来ることはないかと考え、今、住んでいる鹿児島で少しでも多くの人に、橋の日を訴えていきたいと思います。一人の小さな力では、何も出来ないかもしれません、こんなにすばらしい提案を弁論大会や、生徒会などでとりあげ、橋の日の輪をひろげてゆけたらと思っています。

そして、8月4日が、日本国中の人々に、改めて橋の有難さをもう一度見つめ直し、考えてみる日になればいいナーと祈っています。

こんなすばらしい川に抱かれ、こんなに美しい橋たちに囲まれた宮崎の皆様、何よりもすばらしい財産であることを再認識され、川を、橋を、大事にしていってほしいと思います。

私も、宮崎で体験し、学んだ多くのことをいつまでも忘れずに、努力していきたいです。川にも流れがあるように、橋にも歴史の流れがある…… そのことを肝に銘じて、その、自然の恵みのすばらしい財産である川と橋を大事にしていくことが、次の時代を担う私たちの使命だと思います。

宮崎の川と橋… それは私の心の故郷です。

## なんでも鑑定団テレビ出演(1997年) 初代橋橋を架けた福島邦成宅の「福沢諭吉」の額はいくらだ?編

テレビ東京「お宝鑑定団」小林市への出張鑑定に、当会の会員福島順一さん（初代橋橋を架けた福島邦成翁の曾孫）のお宅にある福沢諭吉の額が、応募された200点の応募品の中から選ばれ、鑑定のため出演してきました。

会場である小林市のコスモドームまで、車中では仲間内で鑑定額を話合っていました。「本物には間違いないと思うけど・・・。」なにせ120年の前の事だから、確かなことは誰もわからずただ、伝え聞いた話では、福沢諭吉の額には間違いないとのこと。

50万だろうか？傷がついているので20万。いや偽物で0円。素人鑑定団による鑑定で車中は盛り上りました。

午前10時、会場へと到着。鑑定依頼人7名が集まり、鑑定品の撮影。リハーサル。いよいよ本番へ。

会場は多くの人のお客様で熱気ムンムンの中、収録開始。司会は、松尾伴内氏、小林市出身の芸能人斎藤慶子さんの豪華な顔ぶれで行われた。

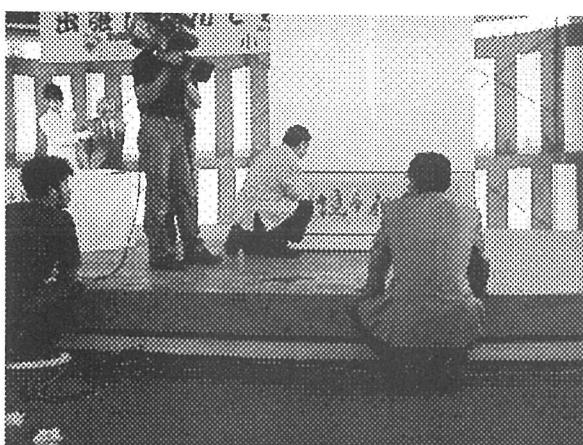
番組では2時間をかけて、7人の鑑定依頼人が順番に鑑定をしていただきました。

オルゴールや掛け軸・時計・・・。半分以上が、自己評価額より高く鑑定額をつけていただきました。

私達の応募した福沢諭吉の額は、自己評価額20万円に対し、100万円の評価額をつけていただきました。また、福沢諭吉の一番勢いのよかつた時の書であること。福島邦成へ送ったものであること。

傷がなければ、450万円の価値はあるとのこと、（この傷は台風で額が飛んだときついたものとの事）等を教えていただきました。

やはり本物だったんだ。一同、福島邦成の凄さを改めて感じた1日でした。



鑑定中……。



なんと評価額100万円!!

## 橋への想いでや橋の日へのメッセージ集

ホームページで募集して、延べ 15,000 名の方からご応募いただきました。  
その中から、主なものを紹介させていただきます。

生まれたときから、川（石神井川）の近くに住んでいました。  
だから、毎日必ず橋を渡る生活です。お天気の日や大雨の日など、季節によくても、  
川と橋の表情は毎日違います。それを眺めるのも大好きでした。 YTさん（東京都）

雪国の橋は、今や凍結せず雪さえ積もりません。「押し出し工法」なる橋のかけ方にも驚きました。（高田橋）会津には塔のへつりにつり橋があります。  
「橋」と聞かれていろいろな橋が思い浮かびましたが、一度はゆりかもめに乗り、レインボーブリッジを渡って・・・・み・た・い! IYさん（福島県）

橋梁会社に勤めていた父は、日本の大きな橋にはいつも何らかの関わり合いを持っていた様に記憶しています。瀬戸大橋が出来ると聞いた時も、「信じられない」思いましたが、今はちゃんと立派にできていますね。その橋が出来上がるのを見ることもなく亡くなりました。  
KKさん（大阪府）

8（は）4（し）で橋の日とは単純ですが思いつきませんでした！ HPは橋の話しだらけでここまでよく集めた～と感心していましたよお～。橋の概念もあるんですね～？ 私の近所にも北海道で一番長い木製橋があり犬の散歩で通ります。何気に渡っていた橋ですがこのHPを見てから意識が変わりそうです♪ SMさん（北海道）

橋といっても、小さなものから有名なものいろいろありますが、情緒ある小さなものは、なんだかホッとします。外国の橋には、欄干部分にいろんな像が建っていて、ゴージャスです。日本の橋は主に交通輸送のためっぽく、目に留めてじっくり見るなんてことないですが、これからはちょっと視点を変えてみようかな、なんて思っています。 SYさん（大阪府）

バス通勤で朝夕橋橋を渡っています。宮崎の澄みきった空をバックに、雄大な流れの大淀川に昇る朝日や沈む夕日を橋の上から眺めながら宮崎の良さを再認識しています。  
MKさん（宮崎）

我が家家の1歳、4歳の娘たちのおすすめスポットは、石橋公園です。  
こここのところ、毎日出かけ橋の下で水遊びをし、石橋記念館で、むかしの石橋の作り方を見たり、ブロックで石橋をつくる遊びを楽しんでいます。無料なのも、うれしいです。  
明日もお弁当を持って、遊びにいくよ!って、娘たちと約束しています。  
全国ほかにも、橋の記念館、博物館ってあるのでしょうか？ NMさん（鹿児島県）

宮崎市もいろんな橋がありますよね。最近では平和台大橋、もうすぐ加納へつながる橋もで  
いますよね。思い出といえば、よく高松橋の下でバスケットをしていました。  
たくさんの友達とコミュニケーションできる場ですよね。もっとああいう場所ができればいい  
んじゃないかな。橋の下でバーベキューなんてのもよかったです。 HSさん（宮崎県）

現存するヨーロッパ最古の橋といわれる、彫刻で装飾された古色蒼然としたプラハのカレ  
ル橋で、夕暮れ時、橋のたもとで演奏するバイオリニストの奏でる哀愁のメロディーを聴いて  
いた。漂う夜霧と幽気の中から、中世の衣装を纏った美女が川霧の中から現れ、幻影かと  
目を疑つたが、橋で中世の音楽を演奏していた女性ハープリストだった。  
カレル橋には、芸術家の卵が演奏するのに適した、橋より突き出たスペースが、中世より設  
けられていたのに感銘を覚えた。 AOさん（東京都）

小さい頃は、橋を渡って近くの神社に夏祭りや初詣に出かけていました。  
お母さんとの市場での買い物や、商店街のおもちゃやさん、自転車屋さんにもそういえばそ  
の川の上にかかる石橋を渡つていってたんだなーと思います。  
市場やおもちゃやさんは、時代の流れでなくなってしまったけれど、橋はいつもと変わらず  
にそこにあって、20年たった頃には通勤で毎日渡っていました。今は離れた場所に住んで  
しまって、めったに渡らなくなつたけれど、変わらずにそこにあるので安心します。  
SYさん（奈良県）

わたしが、いろいろ悩みをかかえて、落ち込んでいたとき、妹がその太白大橋の下の河原  
へ連れて行ってくれました。とても澄んだ川で、小魚が泳いでいるのが見えるほどでした。  
それを捕まえて遊んでいるうちに、童心に返つた気持ちになり、憂鬱だった気分も、気づい  
たら、いやなことも忘れ、すっかり上機嫌で帰ってきました。  
太白大橋を渡る度に、その下を流れる川を眺め、その時のことを思い出して、今でもふと  
心が和んできます。妹の何気ない心配りに感謝です。 SIさん（宮城県）

子供のころたしか小学年生の時に、工作で自分の好きな橋を作りなさいという授業があった  
のですが、ダンボールやカッターナイフなどを駆使し橋を作るのですが、その工作でなんと  
サンフランシスコのゴールデンゲートブリッジのような橋を作つてすぐ先生に讃められ良い  
成績を残せたことがありました。  
その橋を先生はどこかの芸術家?かなんかの人に見せてすごくいい評価だったと言つてくれた  
ことが印象に残っています。 AJさん（大阪府）

初めてのデートで、なんとなく散歩していたら、たどり着いた港。  
そこからレインボーブリッジが見えました。それから、3年後、また同じ場所に行き、一緒に  
レインボーブリッジ見ながら将来を語り合いました。そして、結婚。  
今度は、親子3人で行くつもりです。  
我々にとって、あのレインボーブリッジは想い出の橋です。 GYさん（千葉県）

福岡県北九州市の門司港レトロ地区にあるハネ橋をカップルで渡ると別れるというジンクスがあります。一昨年まだ恋人だった主人とふたりで渡ったのですが、去年めでたく結婚しました。 OKさん（福岡県）

私の実家は岐阜なのですが、長良川にいくつも橋が架かっていて、高校に通うとき、台風の次の日には、いつも水があふれんばかりに増水しており、輪中の伝統も近い地域にあるので恐怖を感じました。

また、朝靄の中、橋を自転車で渡るとき、美しい長良川の後ろに金華山、岐阜城がそびえ立っている情景は今心の中で思い出してみても、まさに日本の美であると格言できます。

HSさん（神奈川県）

仕事の事で落ち込んでいると友達にある橋に引っ張られ、その人はそこからの夕日が一番大好きな場所だと言って、私を励ましてくれた。

そこから見た景色は、私が今まで見た中で最高にきれいなものでした。

その事を思い出すと、その時の友人の優しさとキラキラと光っていた茶橙の空に、未だに感動を覚えます。

橋の上には、何か特別な物が在るように思えてなりません。 SYさん（大分県）

下関から、北九州へわたる為に、毎日海峡大橋をわたっています。

この橋の下で、源平合戦など多くの悲しい出来事がありましたが、いつもいつも、この橋を通る度に、亡くなられた多くの犠牲者の方々に、心を運ばせていただいています。

SFさん（山口県）

50年前のことですが、私の家のすぐそばの釧路川にかかっている久寿里（くすり）橋を祖母と渡っているときに大地震（十勝沖地震）が発生し、ゆれる橋の上で恐怖にふるえたことをいまでも鮮明におぼえています。

当時は、古い木橋で、今にもくずれ落ちてしまうのではないかと思うほどゆれ方で、はいつくばりながら袂まで戻ったのですが、地面は大きく割れてその橋は結局崩れてしまい、新しくなるまでの間、渡し舟で往来したものです。 KTさん（北海道）

幼いころ橋の上から下の川を見るのが大好きでした。

なんだかいつもとは別の世界があるようで！ 魚の稚魚がきらきらと光る水の中で集まって泳いでいたのを今でも思い出します。 KYさん（群馬県）

小さい時悪い事をすると、（おまえは、橋の下で拾ってきたから今から橋の下に返しに行こう）と言われたので橋のイメージはあまりよくないけど苗字に橋の字があるのできれいに書こうと良く練習したのを覚えています。  
橋から下の流れている水を見るのが好きです。 NHさん（京都府）

昨年、熊本県矢部町の通潤橋に行ってきました。  
日本でも有数の石橋があるところですが何も機械がなかった時代に、すごい技術だなあと感心しました。そこから円形分水までさかのぼってきました。  
ここから分かれて流れた水が通潤橋まで流れているのだと思うとなんだか、ロマンチックな気分になりました。その近くには壊れかけた石橋は壊さないで残してあるのですね。  
TYさん（福岡県）

7月中旬に明石海峡大橋を往復してきました。  
非常に機能美にあふれ、橋脚部分の公園など橋を「鑑賞」できる場所が整備されていて、単に構造物だけでなく鑑賞の対象として橋が認知されていることを実感しました。あそこは歩いて渡れないのでしょうか？ オーストラリア・シドニーのハーバーブリッジなどは案内者と一緒に、一般観光客がアトラクションとして楽しめるようになっていますよね。あのような橋が日本にもあっていいのではないかと思います。 IKさん（兵庫県）

橋は川など渡れない特別な場所に設けられた道であり、橋の上に立つとなんだかワクワクします。私は山口県に住んでいるのですが運転免許を取って初めて錦帯橋にいきました。ちょうどお花見の季節で桜が満開でした。 ONさん（山口県）

宮崎市の出身です。橘橋は自宅から歩いて20分くらいのところに架かっています。  
幼いころは橋から向こう（橘通方面）が、遙か彼方にあるように感じられて、早く大きくなつてこの橋を渡るのだと思っていました。  
高校の頃は毎日の様に自転車で学校にも通ったし社会人になって飲んで帰りはいつも歩いて渡りました。橋の真ん中辺りから見る夕日がとてもきれいでよく見ていました。  
TMさん（東京都）

会社のお得意様であった女性とは、彼女が会社を辞めて故郷広島に戻った後も手紙やハガキのやり取りで友達関係を続けていました。  
数年経ったある時、広島に招待されて初めて広島周辺の観光をしました。  
広島界隈の人たちが春にお花見に行くスポットだと紹介されて行った所が「錦帯橋」でした。テレビでは見たことがありましたが、スケールの大きさと、その橋の素晴らしさに感動した記憶があります。はじめて橋を見て感動しました。 NHさん（東京都）

子供のころ橋の上から、鰯(ぶり)の頭を入れた蟹(かに)籠(かご)を橋からひもで下ろしてしばらくしてから上げるとワタリガニが入っていて橋の上で取ってから、家でゆでて食べると最高においしかった。 MMさん（宮崎県）

小学3年の冬、音楽コンクールの練習で遅くなり辺りが薄暗く、水害で流された。そこに仮の吊り橋が架けられ、歩くたびにユラユラ揺れる橋を渡る、友人とキャーキャ言いながら楽しく渡った事がふと思い出される。また、隣のおばあちゃんの容態が悪くなった時、お医者さんを呼びに慌てて吊り橋を急いだ思い出があります。瀬戸大橋の下を太平洋フェリーで、通った時の感動や、山口県の金帯橋を渡るとき滑りそうで恐る恐る渡ったこと等走馬灯のように橋の思い出がよみがえりました。 MTさん（愛知県）

小学生の頃に、「つり橋渡れ」という、国語を習いました。  
あまり内容は覚えてはいませんが、なぜか題名だけは、印象に残っていました。  
橋というのは、人間と人間の間にも橋ができると思います。お互いの橋が完成すると、気持ちを分かり合ったりできると思いました。 NAさん（富山県）

小学生のころ、習い事に行く時に必ず渡る橋があった。  
その橋はコンクリートの大きな橋で、いつも意地悪な顔をしているような気がしていた。  
習い事が憂鬱だった当時の私には、とても長くて嫌な橋だった。  
最近、里帰りして橋を訪れてみたら、あんなに大きく意地悪に見えた橋は、2台は通れないほどの、小さな小さな橋であった。  
頑固親父の背中が小さく見えた時の「何とも言えない寂しさ」と同じであった。  
しばらく橋を眺めてちょっと笑ってしまった。  
今度は、あの橋の写真を撮りに行こうと思う。 TNさん（兵庫県）

この夏は台風がたくさん日本を通過・接近して、各地で被害が多く見受けられます。  
橋が流されると、大変だろうなと思います。大津・瀬田を結ぶ橋が少なくとも6本あり、どれも重要な橋です。国道・JR（在来線・新幹線）ももちろん通っています。  
それらの橋が寸断されると、しばらく生活できないだろうなと、いつも、橋の流出事故の度に感じます。普段、何も思わずにつぶやく橋ですが、生活に充分密着した存在ですね。 YYさん（滋賀県）

ちょっと贅沢な思い出なのかもしれません。学生のころ参加していた吹奏楽団の海外演奏会でニューヨークへ出かけました。滞在最終日の夜、マンハッタンクルーズに参加した。自由の女神を回り、摩天楼が夕日に染まり、あの有名な橋の下を 優雅にゆっくりと通ったときの何ともいえない気持ち…。 映画や写真でしか見たことのなかった場所に「自分がいるんだあ」と、不思議な気持ちになり、それはもう至福の時を過ごしました。 TMさん（群馬県）

「橋」って「健康」と同じでいつもはあって当たり前の存在ですが、いざ災害などがあると、改めてその重要性を認識させられますよね。

「橋」の思い出といえば、日本三大がっくり名所のひとつである「高知はりまや橋」でしょうか？ 最初はどこにあるのかさへ気付かせませんでした。

また「橋」といえば「出会い」や「別れ」の場所の定番ですよね。

人生山あり谷ありですが、それをつないでいるのが「橋」という事でしょうか？

KYさん（宮城県）

高校生のときに、ある人から「12/24 夜10時に橋の上で待っていて」とメモをもらって何だろうと…と橋の上にいってみたら「付き合ってください！」と当時付き合っていたときに昨年、結婚したダンナさんと、告白されて…感じのいい人だと以前から思っていたので「はい」と返事をして…それから気づいたら10年付き合って、昨年結婚したのが、そのカレです。あの橋が私たちを結びつけてくれたんでしょうね。

想い出の橋としてウェディングドレスを着て橋の上で、記念写真を撮りました！

SKさん（広島県）

幼いころ、母の実家に行くのが大好きでした。その行き帰りに通る「銚子大橋」は、ここを通ったらもうすぐ着くよ、という目印のようなものでした。

行きはわくわくして通り、帰りは切ない気持ちで通り…。

橋を越えるということは、気持ちの切り替えるポイントだったのでしょうか。

今はあまり通らなくなってしましましたが、その頃の思いは忘れられません。

OMさん（千葉県）

橋ってなんかロマンチックでいいですね。出会いや別れ、橋の上から見た風景、遠くに見える橋などどれも美しい思い出になります。

去年錦帯橋へ行きましたが木造の美しさとぬくもり、橋を守る人々の心意気に触れて感動でした。 UMさん（神奈川県）

私の故郷鹿児島市に高麗橋という橋があります。

高校生の頃毎日この橋を渡って高校に通いました。高麗から来た石工がこの橋を気づいたといわれています。

「私の記憶違いかも知れません」それでいざというときのために橋の石を一つ取り除いたら橋が崩れてしまうといわれていました。

以前、風の便りでこの橋を崩すという話が伝わってきました。

その後、住民の運動でこの橋を保存することになったそうです。

今でも、時々この橋を渡って学校に通う夢を見ることができます。

この橋の印象がまだ私の頭の隅に残っているようです。 KMさん（長崎県）

私の実家は熊本の天草新和町というところです。  
緑や自然が多いので川もたくさんありいろんな橋が多くに点在していました。  
幼き頃は橋の上から魚釣りをしたり、夏は橋から川に飛込んだりと色々遊びました。  
私にとって橋は思い出の一部であり、子供の頃に戻り回想させられるものであります。  
最近里帰りしたときに思うのですが、老朽化した橋があることに気づきます。  
橋は私たちの生活に欠かせないものですから、安全面について考えていかなくてはならないと思います。　　HKさん（熊本県）

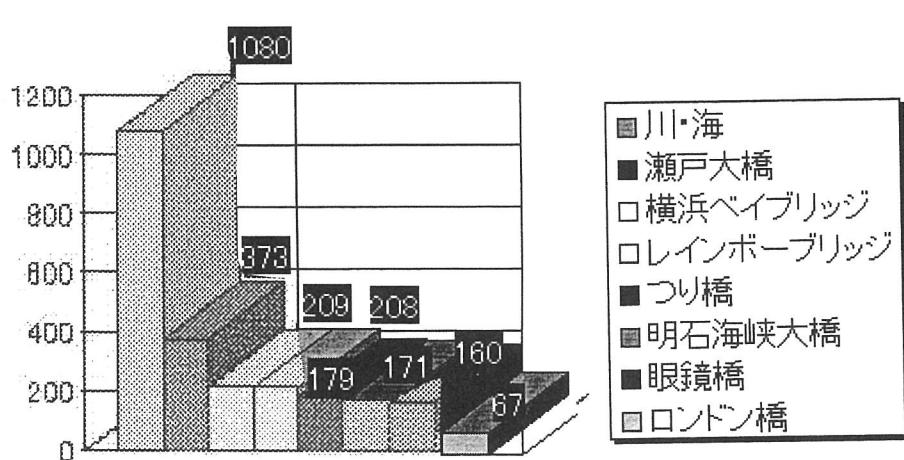
橋には楽しい思い出も懐かしい思い出もいっぱいあります。  
幼い日に父の背中で渡った先代の昭和橋は函館の街のお祭りの思い出。  
息子を訪ねて渡る室蘭白鳥大橋はいつも快適でした。  
旅行好きですが特に宮崎県日南市の名前忘れましたが小さな橋を渡るとそこからは旧飫肥の城下。別世界の情緒豊かな趣きは今も懐かしく思い出します。　　TMさん（北海道）

小学校の頃に、学校まで通うのに毎日通っていた、石で出来た大きな橋がいまでも忘れられません。雨の日も、友達とケンカして帰った日も、テストの点が悪くてなかなか渡れなかつた日も。いつでも大きな橋は、私の成長をやさしく見守っていてくれました。  
IHさん（長野県）

# 橋の日アンケート

第14回（平成12年8月）橋の日イベントでは、全国から橋と橋の日に関するアンケートを実施しました。総数4752通の回答が寄せられ、下記の通りの結果となりました。

## ① 橋といったら何を連想しますか？

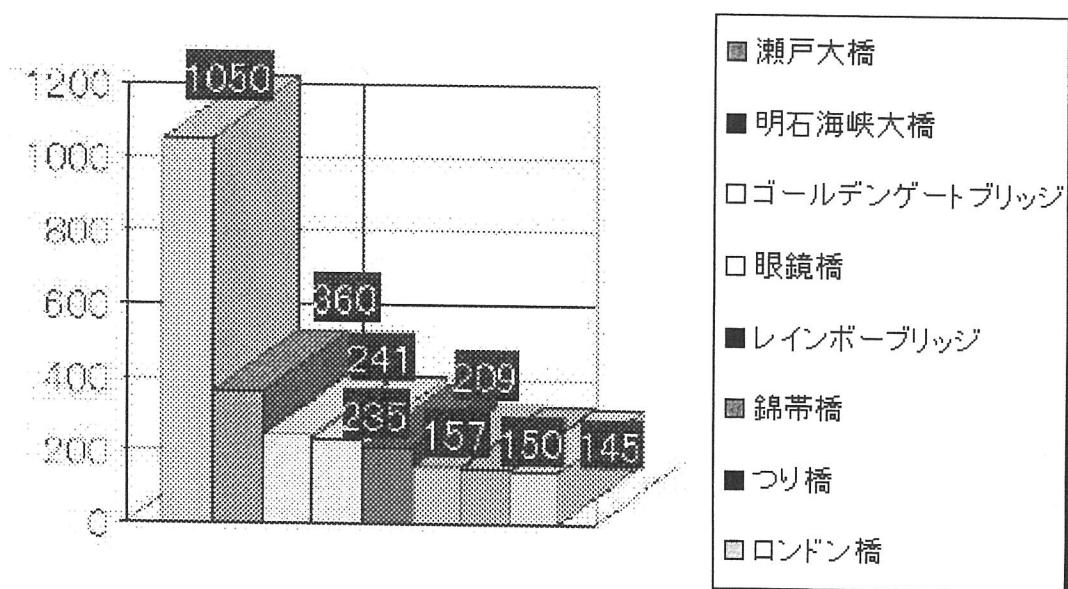


この他にも多数の意見が寄せられています。

人の出会い、橋 幸夫、一休さん、関門海峡、橋の名前、架け橋・やさしさ  
私の名前、出会い、渋滞、日本橋、つながり、つなぐ、待ち合わせ、川  
天の橋立、天の川、道路、虹、バンジージャンプ、箸、日本橋、風  
飛び込む、父、弁慶、便利、未来・未知、夢、夜景、友情、平和、文化  
夕日、怖い、旅行、落ちる涼しい、高い

☆橋というと川や海と答えた方が圧倒的でした。  
橋だけでは橋を語れないということでしょうか。  
橋への想いやあこがれが長大橋等によって表現され、またさまざまな橋への  
想いやイメージがたくさんのキーワードにて表現されているようです。

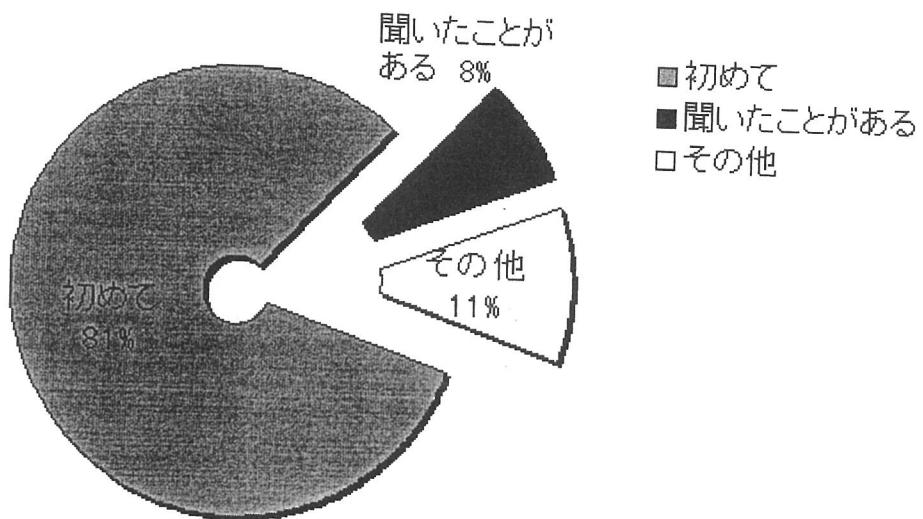
## ② 行ってみたい橋、渡ってみたい橋を教えてください



この他にも多数の意見が寄せられています。

横浜ベイブリッジ、渡良瀬橋、しまなみ海道大橋、鳴門大橋、かずら橋  
渡月橋、関門海峡、マディソン郡の橋

## ③ 橋の日を聞いたことがありますか



▼回答数 初めて 4180通 81% 聞いたことがある 386通 8% その他 11%  
毎年8月4日に全国放送でアピールしていることもあります、8%という認知度をいただきました。  
これからもこのような全国イベントやアンケートを通して、「橋の日」をアピールしていきたいと思います。



# 報道にみる橋の日



# 橋の日 制定へ

延岡

## 安賀多橋で実地調査



安賀多橋を調査する実行委員会のメンバー

“橋の日”(8月4日)制定  
安全点検を趣旨とするもので、  
と、関連事業の推進に向けた  
初めての実地調査がきょう午  
前行われた。

八月四日を“橋の日”とし  
新ひむか通り運動（健康都  
市運動など）連の運動として  
位置づける——を大義に、水  
郷のまちづくり、清掃美化と

きょうは、橋の日実行委員会  
のメンバー十人が、実際に安  
賀多橋の車道、歩道を点検し  
て回った。その結果、排水溝の流れが  
わるいために、各所に雑草が  
生い茂り美観をそこなつてい  
る。

安全点検を趣旨とするもので、  
と、関連事業の推進に向けた  
初めての実地調査がきょう午  
前行われた。

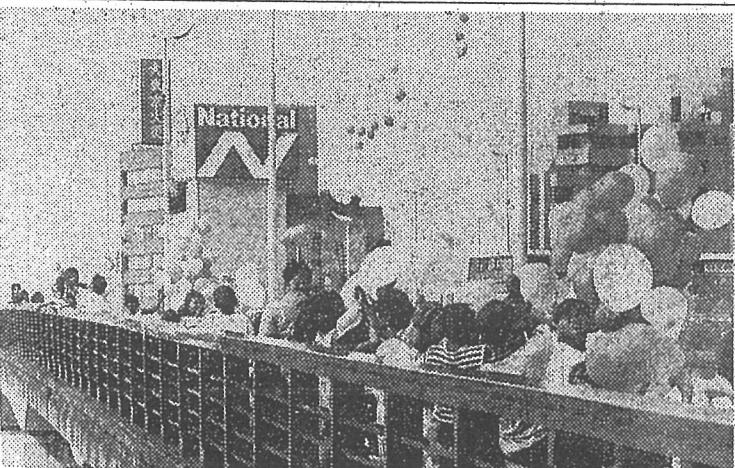
午後から早朝清掃、電飾など  
関連事業に向けた具体的な実  
行計画が話し合われた。

決まった計画は、①安賀多  
橋早朝清掃②プリッジスタン  
ブリーリング③ヨギング教室④  
座談会「延岡の橋今昔」⑤写  
真展⑥橋に生け花⑦ボスター  
作成⑧橋の絵画募集（小中學  
生）⑨新聞紙上クイズ⑩橋の  
電飾など。

昭和61年 7月16日

# 宮崎・延岡川を清掃

8月4日を橋の日に



「橋の日」を全国に広げようと、風船を放す子供たち  
—宮崎市の橋橋で

ある日の橋や河川との触れ  
合いを取り戻そ�と、市民グル  
ープによる「橋の日」運動が四  
日早朝から宮崎市の橋橋と延岡  
市の五ヶ瀬川にかかる安賀多橋  
であった。参加者は橋と河川敷  
で清掃をしたり、川の流れを案  
じたりしながら交流した。  
「橋の日」は宮崎市小松原東  
(写真)が昨年から提唱。一回目は  
延岡市の安賀多橋で開催、青年  
会議所などの団体で運動が広が  
り、二回目は宮崎市でも行つ  
た。

この日、宮崎市の橋橋では小  
中学生や市職員、市民ら約百人  
十人が集まり、大淀川の河川敷  
でゴミ拾いをした。また、橋橋  
や大淀川の歴史や浄化運動につ  
いて学習会を開き、「橋の日」  
を全国に広げよう約一百個の風  
船を飛ばした。



# コイ放流・風船放し

「橋の日」大いにアピール

「橋の日」(八月四日)を機に、提唱している宮崎・延岡両市の民間団体が四日、宮崎市の安橋橋(大淀川)と延岡市の安賀多橋(大隈川)で橋供養や河川敷の清掃などいろいろな催しをしてアピールした。これは、宮崎市小松台東一

の会員、湯浅利彦さん（四〇）が六十一年初めに提唱した。日常生活や交通の大きな役割を担っている橋や河川と市民が離れてはならないことで、新しい古里づくりや都市景観の再発見をしてもらおうというのを、県が進めている新ひむか

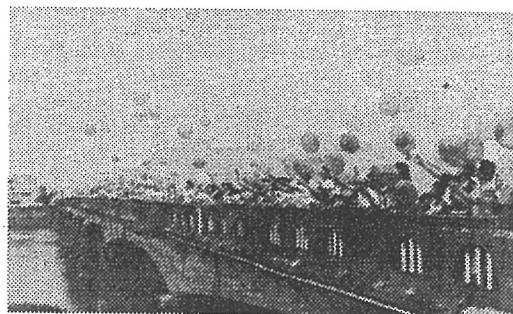
ついで、運動会の開催が決まりました。

---

宮崎、延岡  
チビ子演奏も



元気いっぱいマーチを演奏する  
江南保育園児



カラフルな風船をあげる「橋の日」  
参加者たち（延岡で）

かづくら運動興農民会議の壇場で、一郎会長が「川と橋は古くから私たちの生活、文化に密接ななかかわりを持つてきました。橋にはいろいろな物語があります。古里の橋を見直して橋の日を全国にアピールしていく」とあいさつした。

説明。小戸小六年の河野将憲君(一)と同小五年の城廢美さん(一)が「川は私たちの生活にとても大切なものです。橋があるので川を渡ることがであります」と作文を朗読した。

特別参加の江南保育園児四十五人と管大吹奏楽部が「双頭の鷲の旗のもとに」などを演奏して花を添えた。このあつりを同市中心部の延岡市で、「延岡橋の日」をPRして、同川に稚子全員でビニーカラフル風船四十枚を滑掃して、川を清掃して、延岡市で、

。 三回目の「橋ま  
た。 個を放し“橋の  
歩き、橋橋の上  
ル袋を手に河川  
イ千疋を放流、  
実行委員会”が  
安賀多橋で約百

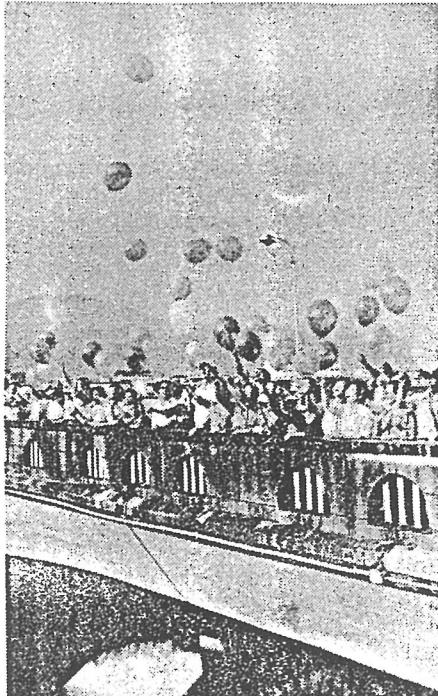
金賀が竹ボウキやビニール袋を手に橋の清掃などをしたあとラジオ体操。最後に約四百個の風船を放したが、この時、同市内のローター・アクトクラブ員、川口幸男さん(三セ)がカッパにふんして同橋下の大瀬川に現れ、水中からあいさつをする楽しいパフォーマンスもあった。

昭和63年

# 橋の大切さ見直す

## 延岡市 清掃や供養に100人

橋を通じて水郷・延岡を見直す  
そつと「橋の日」の四日、延岡市安賀多橋で市民百人が参加、橋の清掃や供養など記念行事が行われた。最後に全員で風船をあげ、橋の日を祝った。  
同市内には大瀬、五ヶ瀬、祝子、北川の主要河川が生息し、古くから水郷と呼ばれている。



風船をあげて橋の日を祝う市民たち  
(延岡市・安賀多橋で)

内には二百以上の橋が三百七十  
もあり、日常生活に欠くことが  
できなく、橋に対する市民の意識は低い。そこで、延岡の観光  
を考える会(野中玄雄代表)ら  
民間九団体が「橋の日」実行委  
員会を結成。昨年、第一回の行  
事を繰り広げた。

今回は二十団体から約百人が  
ほうきを持って参加。午前六時  
から全員で清掃。歩道上の雑草  
や紙くずなどを拾つた。きれい  
になった橋の親柱には、市華道  
連盟の協力で生け花も。このあと橋供養があり、関係者  
が橋に酒を注いだ。実行委員会  
(七ヶ瀬、橋は延岡の生活を支え  
を代表して長谷川時丸さんによ  
る記念行事があつた。

一方、宮崎市でも橋の大切さ  
を見直すことで郷土愛を育てよう  
と、民間団体の第一回橋の日  
実行委員会(湯浅利彦氏代表)に  
付けての用紙にスタンプを押して  
いた。

会場では橋の日振唱(ちかみ  
作られた大瀬橋、坂田橋、安賀  
多橋、龜井橋の四つの記念スタ  
ンプも用意。参加者たちは備え  
つけの用紙にスタンプを押して  
いた。

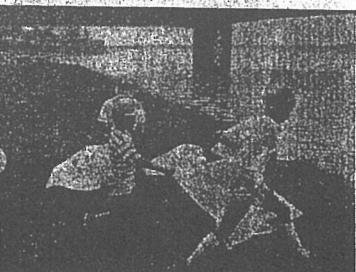
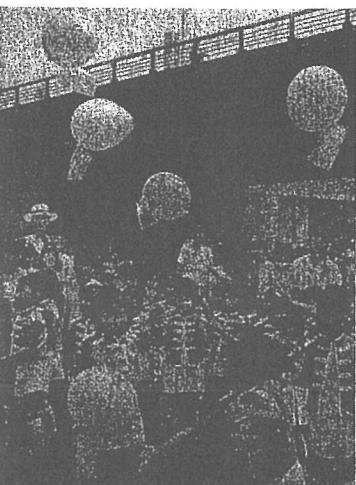
△

ておの見直さなくてはいけませ  
ん。これからもみんな橋を大事にし、水郷・延岡を見ていいま  
しょう」とあいさつ。最後に  
に参加者全員で、風船を上げて  
橋に感謝(せんかん)した。

## コイ放流や風船飛ばし 橋の日 実行委 大淀川で多彩な催し

### 川をきれいにー子供ら呼びかけ

「河川の環境(くわんきょう)を守るために、橋の下で掃除(そうりよ)する江町  
保育園マーチングバンド。わが子の隣(となり)に父母(おやしょ)らが壁(かべ)  
にシャッターを切った

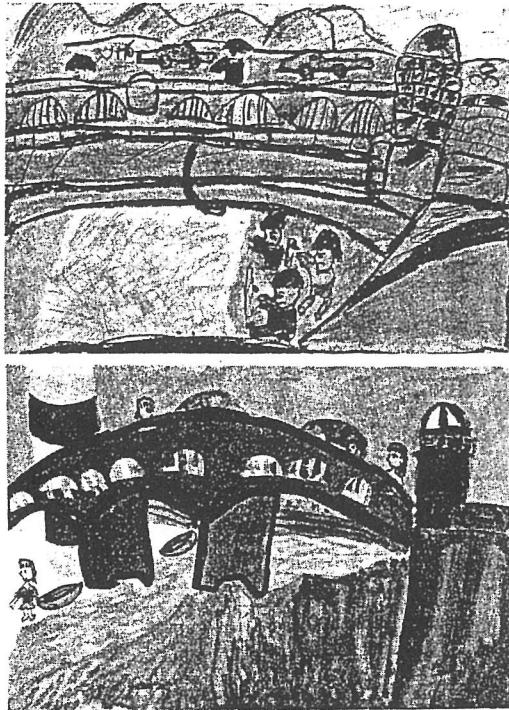


早く大きくなれ  
コイの稚魚放流して供養は監査(げんさい)大賞

大淀川をめぐらすメドジ放流と風船飛ばし開催された

川をきれいにー子供らが壁にシャッターを切った

河川環境整備(こうめい)が図る



金賞・内倉真一郎君(同上小3年)

銀賞・森下咲智子さん  
(南方小5年)

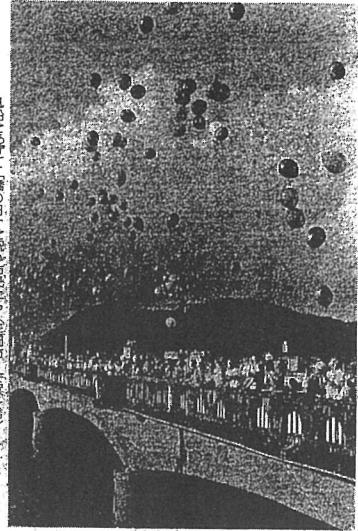
内倉君が金賞、銀賞は森下さん、染矢さん  
あすから6日まで旭サービスで展示会

## 延岡・橋のある風景スケッチ大会の審査結果

ながれ流された。心から喜び  
学園短期大学教授の渡木真  
前、近岡市安賀多橋町に  
開かれた「延岡・橋のあり  
風景」スケッチ大會の入賞  
者が決まりました。

渡木真は、心から喜び  
学生二十五人の作品が  
まず一回から四大賞が付  
岡崎市の旭川レインボウ  
（本題と呼ぶがいい）が、  
なく優秀賞に属する。  
学生は、(その他の) 優秀賞  
「金賞」内藤一郎師(同  
高小三年)、『鏡玉』森下洋  
輔(同)、『南洋の珊瑚礁』  
染和子さん(近岡小四)  
「銀賞」甲斐みづかさん  
(同)、『川の水』山口千尋  
さん(同)、『富士山』吉田博  
基(同小五年)、『朝日』野  
中翠代さん(旭川小四年)。

夕刊デイリー 平成2年8月1日

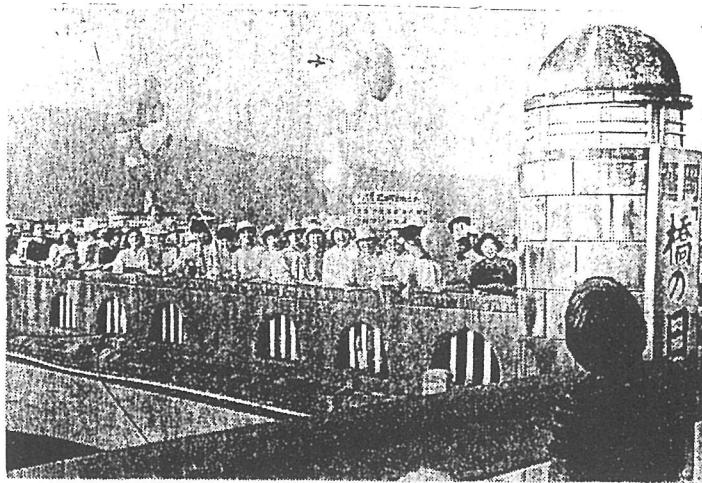


宮日 平成元年 8月5日

# 山西に響く歌声

清流・五ヶ瀬川を歌つ  
「五ヶ瀬の流れに」が八月四日  
田の日記念日。延岡市  
安賀多橋周辺に響く。市民参  
加の水辺の合唱囃子。  
この「五ヶ瀬の流れに」は昭和六十二年に誕生した。シモンタラ  
六年六月、たてられた「水と緑のまん  
ちづり」。さとう宗幸・小坂俊  
恭子アーティシヨン・サポートの  
テーマソング。

「大藏經」卷之三



川に向かい「五ヶ瀬の流れに」を歌う参加者

### 延岡・安賀多橋

## 田代さんの感謝込み 清掃、供養や合唱

### 300人参加、橋の日まつり

延岡市の第五回橋の日まつり（延岡橋の日実行委員会主催）は四日、延岡市の大瀬川に架かる安賀多橋で行われた。三百人の市民が参加、清掃や供養を通じて橋に感謝した。

申の通りもほどよい午前六時から清掃。参加者は持参したほうきと橋の歩道を丁寧に掃き清めた。色とりどりの風船で飾り付けられた同橋北詰めでゼレモニーを開催。締供養で延岡

華道連盟が献花を行へ、水郷延岡とつながりの深い市内の橋に感謝の気持ちをさけた。

その後、同行事では初めて水辺の市民合唱を実施、「五ヶ瀬の流れに」を川に向かって歌つた。同曲は昭和六十二年に市内で開かれた水とみどりのコンサートの主題歌で、水の街・延岡のイメージソング。同市のママ

橋にもロマンがある。語られる楽しさ、向は楽しいことである。土木行政によつてなされることは、町づくりにも大きい役立つている。

酒駕業 初鹿野造一 65  
向こなく歌っている橋を、考えてみれば、大変な役目を果たしている。人を、物を運ぶ機能を果たせば、橋の役目は十分であるのだが、その羅にロマンが語られるようになったのがうれしい。

山間のウグイス、そして鹿の子城（きょうりょくじょう）について「その地域の歴史、文化を感じさせるような環境に調和したデザインとしていく」と勧告しているが、各地の橋の親柱

つまり橋の親柱だ、その土地の特徴を生かす配慮が

が地域性を醸していく傾向には深いことである。

延岡の力の入れようは大変なものだと聞いている

が白鷗でも海岸のカツオ、

山間のウグイス、そして鹿

の子城（きょうりょくじょう）

近の城跡をバックにした

親柱の親柱は、地元でも

ユニークなものと、地元で

好評を受けている。

（日南市）

が白鷗でも海岸のカツオ、

山間のウグイス、そして鹿

の子城（きょうりょくじょう）

近の城跡をバックにした

親柱の親柱は、地元でも

ユニークなものと、地元で

好評を受けている。

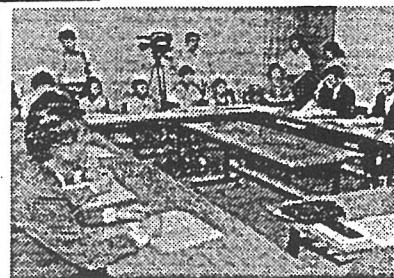
（日南市）

平成2年 8月5日

平成3年 4月9日

## 橋を通して 豊かな心を

宮崎で座談会



活発な意見が出た座談会

宮崎市など設けている  
八月四日の「橋の日」を前  
に、宮崎橋の日実行委員会  
(塙見一郎代表)は十五日、  
宮崎市内で、小学生や学識  
経験者、郷土史家などを招い

て座談会を開いた。  
青井正彰・同実行委員会  
副会長が「橋を通して、生

て橋が架けられ、  
人が渡る代金として当時ア  
メリカ買える四厘が必要だ  
った」などと説明した。

宮崎市では八月四日、

年の児童からは、「八月四  
日に川を拾つたら、川  
とあいさつ。郷士  
史家の野口逸三郎  
さんが、同市の大  
淀川に架かる橋橋  
について、「今の  
橋は七代目。明治  
十三年に、初めて  
地元の医者によっ  
て橋が架けられ、  
橋橋周辺の清掃作業や大淀  
川への魚の放流、橋の日  
新聞発行などが行われる。

感想を大事にする

同市立生田台東小四、五

年四回目。建設業者や同実行委員会約二十人が参加。ビニール袋を片手に、橋橋を歩きながら

話を拾つた。

この後、橋の供養と感謝の気持込を込め、橋橋の名を記した石碑に献花。メッセージを添えた風船四百個を飛ばし、「橋の日」を郷土のイベントとして広めていくことを確認した。

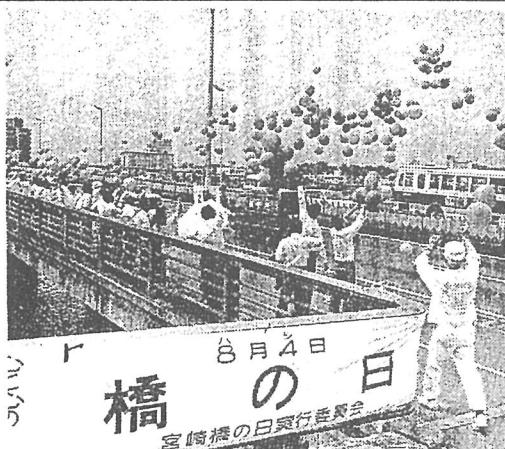
同実行委員会は橋の日の行事として宮崎市の宮交シティで橋橋の写真展を催しているほか、橋橋の名前にちなみ、宮崎小(旧橋小)にタチバナの木を植樹す

る予定。

## 橋橋がすつきり

「橋の日」記念し清掃作業

田付のゴロ合せで「橋の日」  
と並べてある四田、宮崎市では  
もう一度ふるさとの橋や河川  
を見直そう、と昭和六十二年、  
郎會(会)が市内の大淀川に架か  
る橋橋の清掃作業をした。



メッセージを添えた風船を飛ばす参加者たち

朝日新聞 平成2年8月7日

## 『橋の日』名古で催し

西日本新聞社 西日本新聞社

た。

「橋の日」を提唱、奥田市長が「橋の大切さ」などと清掃を開始。路地や排水溝の清掃、橋周辺の除草由来拾い、橋づなへの題材記した橋外版が題材に取り上げられた。

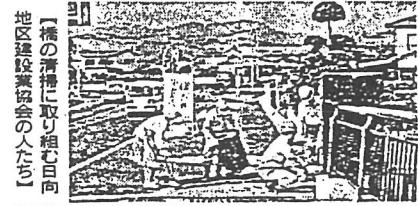
昭和六十二年、延岡市で三十五年参加者が増大、「橋の日」を提唱、奥田市長が「わが市が順調に直していくよ。これからは九州、全国へ。」と発言した。小松台原市長も「橋の日」を宣傳し、市議会から「橋の日」を認定した。



### 掃き清め、はだしで渡る 安賀多橋

○・延岡市でも、大瀬川、同市伊集院、大瀬、祝ひてこ。  
に架かる安賀多橋、橋の子、北川の田口部  
田行事の「早瀬大瀬」。に付置すがために、後の  
「オーケー」。延岡橋のい街として知られる。

○・田口延岡区建設業協会  
(黒木数穂會、田口部  
の母ひがけで約百人  
人が参加。夜明け間もなく、  
大瀬流しがやらないま  
い様なつまごで清めた  
後、はだしになつて往復し  
て、延岡橋が河川の余暉によ  
そに輝く。)



西日本 平成6年 8月5日

## 橋に感謝し、

西日本新聞社 西日本新聞社

橋に感謝の意を表す  
つい田口延岡区の橋(八  
四)の日」がなされた行事  
があつた。今年で八回目を  
迎え、日本記念日協会から  
全国で最初の「橋の日」認  
定証も届いた。

延岡橋の日実行委員会  
(原見一郎会長)は、大瀬  
川の橋権者語り、記念イベ  
ント。音頭女高の生徒や  
県産業開拓青年隊、周辺の  
住民ら約三百人が参加。

塙見会長が「橋の大切さ  
を考え、見つめ直し、心  
のかけ橋を広げよう」と  
とあいさつ。橋への献花  
やコインサークル、コイの稚魚  
の放流、清掃などが行わ  
れた。

橋の日は、同市小松台東  
一、会社員湯浅利彦さん  
(左)が昭和六十二年、「橋  
を通じて、ふれることを愛す  
る心と河川の淨化を図る  
う」と提唱。

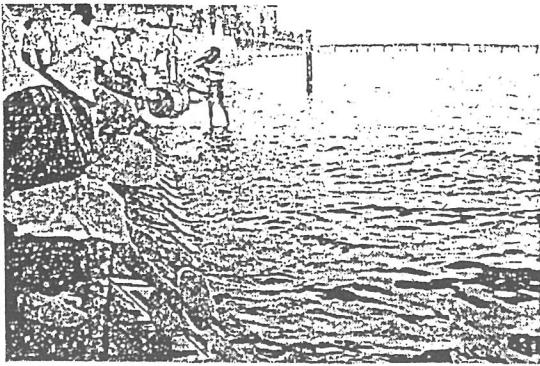
翌年から実行委員を中心に行  
事を始めおり、今回の認  
定証に湯浅さんは「全國的に  
認知されたい」と喜んで  
いた。

読売 平成6年 8月5日



# 稚魚放流や架橋「還暦」

宮崎、延岡市で橋の日祝う



「橋の日」にちなんで、コイの稚魚を放流する参加者たち

「橋の日」の四日、宮崎市の橋（大淀川）周辺で記念イベントがあり、延岡市の安賀多橋（大淵川）では、架橋六十年の追憶、西祝った。〇・八月四日がふるわせで「はし」と認めることから眞矢宮崎市などこの日を「橋の日」として河川の愛護や活性活動を始めて

飛梁開発青年隊の若者たちが河川敷でごみ拾いをした。…道脇、覗いた安賀多橋は、大淵川两岸の同市中央通り安賀多町を結び、六十年前の昭和十一年に架橋された。知人を頼つてようして延岡市を訪れた野口雨僧が「安賀多大橋流しちゃならぬ流しや頼りが遠く

に架橋された。同年頃つてようして延岡市を訪れた野口雨僧が「安賀多大橋流しちゃならぬ流しや頼りが遠く

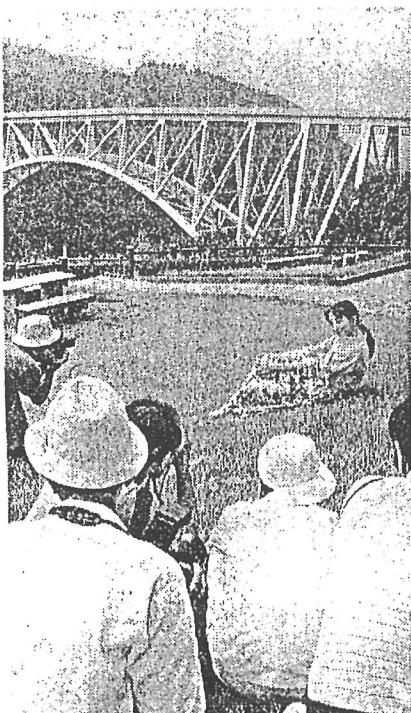
を渡る人たちに配り、「延岡橋の日」代表の野中文雄さんからが橋を大事にする手がかりした。

西日本 平成8年8月5日

## 雄大な橋をパチリ

「橋の日」に初の撮影会

日之影町



青雲橋をモデル娘とともに撮影するカメラマンたち

橋のまちとして知られる日之影町で「橋の日」の四日、同町

日本一長い「龍天橋」、延岡、宮崎市、熊本県をかこり二十二

人の写真ファンが参加、ベストアンガルを求めるながら盛んにシ

撮影会に続いている。同協会はフ

オトコンテストを行う。カラーフ

四つ切り、額がパネルに上げて提出を求め、大賞一点（賞金十万円）ほかを決める。発表は

90ひむかの祭典の催事として同

町で開く「九州むらおこし博覧会」（十一月四日）で行うこと

している。

花束を抱え、お話を述べる福島順一さん（左）



## 稚魚放流や太鼓演奏

### 橋橋で「橋の日」イベント

「橋の日」の四日、宮崎市の橋橋を中心として、宮崎女子高生や県産業開発青年団員ら約三百人が参加してコイの稚魚放流などの記念イベントが繰り広げられた。

高崎「橋の日」実行委員会が主催。今年は一八八〇（明治十三）年に私財を投じて橋橋を建設した宮崎郡大田村（当時）の医師福島邦成の没後百年に当たるこの日、邦成のひ孫の福島

宮日 平成10年8月5日

順一（ゆき）・義枝（よし）さん夫婦（同市中村西二丁目）を招待した。同妻行委員会から花束を贈られた順一さんは「あるため、そう祖父の事業の大きさを感じます。ありがとうございます」と礼を述べた。内水面漁業協同組合が準備したコイの稚魚二万匹を参入大淀川河川敷では、宮崎市役所前公園では宮崎少年少女合唱団が合唱を、橋加者たちで放流した。

## 私費で「橋橋」架橋 福島邦成の足跡紹介

### 宮交シティでパネル展

八月四日の「橋の日」にちなみ、写真パネル展「邦成と橋橋—118年展」は四日まで、宮崎市・宮交シティ階ガリバー広場で開かれている。宮崎「橋の日」実行委員会（会長）主催。入場無料。



「橋の日」にちなみ、写真パネルで橋橋の歴史をたどる「邦成と橋橋118年展」

宮日 平成10年8月2日

で約六十枚の写真パネルと新聞記事で紹介している。邦成が私費で架橋した初代橋橋は一八八〇（明治十三）年完成。以後暴雨などにより六回架け直されており、現在は七代目。写真

には新婚旅行ブームでにぎわう大淀川河畔や当時の街並みが写っており、百八九年の歴史を持つ橋橋とともに歩んできた人々の暮らし垣間見える。記念式典は四日午前九時から同市橋橋北詰めである。

「橋の日」は一九九三年（一九一九年）の没後百年に日本記念日協会が認定。今までは同市の橋橋を私費で架けた医師・福島邦成（一八一初代—現在の七代目橋橋ま

## 遺作の石橋を訪ねる

本谷 昭和橋 小山宇太郎氏の子孫

日向

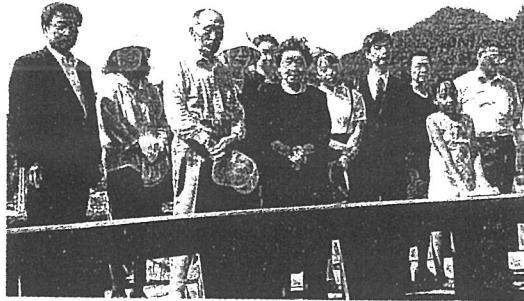
田口市の境内に支店、高  
いに採用する市指定文化財  
「本舗昭和櫻」を設計施工  
した小山宇太郎さん(二郎)  
町小園さん。その孫がこのま  
で地元を訪ねた。『現在は  
やがて「喜慶」を迎えなが  
とする遺作に触れ感動しな  
けた。

香川県丸亀市や鹿児島県  
川内市などで石工修業を積  
んだ寺太郎さんの藝術的足  
跡は県外に及んでくる。  
彫刻作品の一つとしてが  
市内櫻木の海神社に納めた  
こままで残っている。

今回も金木先生を始め、史料研究会員の諸君が博文館で市長選舉に関する歴史資料を収集して貰った。これが政黨の歴史を知るうえで大いに参考になった。そこで、その中から、橋の町の歴史を記す。武子ねねは「いつまでもおじいちゃんが保存しただけ」あるがたく、いじめや口説いた

一  
如  
事  
記  
卷  
之  
八

昭和橋にたたずむ式子さん(中央)らと秦内役の錦木さん(左から3人目)



夕刊デイリー 平成14年8月14日

# やみに響く音色感動

## 石橋背にオカリナ演奏会

開催。福岡、鹿児島県など全国的に広がっており、「橋の日」が他県との交流の懸け橋になれば」と同実行委。

日南・大谷石橋

オカリナ演奏家の野口一ナ演奏会は十一日、日南喜佐さん(ミタ)を招いての市酒谷の大石橋(おおいはし)であります。せせらぎの里酒谷オカリナ。ライトアップした石

橋前での春晴のじつアが約五百人の観客を魅了していった。  
酒谷の名所できれいに修復された大谷橋と独特の音色のオカリナを楽しむ地元関係者たち。区の郵便局関係者たるふだむねおひと、県南北の郵便局関係者たち、「あなた（のま）らの郵便局」が企画。演奏には野口さんとの妻、友人、酒谷由生ら

演奏会は初めてで、参加者は「オカリナの音と古い石の橋がマッチして感動した」と話していました。

ライトアップした石橋  
を背に美しい音色を披  
露したオカリナ演奏会



# 「橋の日」が20周年

## 延岡から各地に広がる けさ、盛大にイベント

きょう八月四日は「橋の日」イベントの発祥の地・延岡でけさ六時から安賀多橋を会場に第二十回の行事が行われた。主催する延岡「橋の日」実行委員会(有野義、実行委員長)の呼び掛けに大勢の市民が参加。延岡から全国に発信した「水辺祭り」を楽しんだ。節目の二十年目を盛り上げるために同じ水郷の柳川市から観光客物の「どんこ舟」も参加。早朝の大瀬川で川下りもあった。

橋の日イベントはすっか

り延岡市民で走着した。午前六時集合だったが、その

前から三五ヵ所で集ま

り安賀多橋のあちこちで清掃。隅っこ泥、ごみなどもきれいに取り除いた

した。

共催の国交省延岡河川

事務所、協力県延岡土木事務所、市商工会議所、

道事務所、延岡市役所、

観光協会、延岡五ヶ瀬川漁

協、文化連盟、華道連盟など

市内の企業、ボランティ

アグループ、近所の人たち

がそろった。安賀多

橋北詰で式典。橋に生け

花が飾られ、橋の「親柱」

に参加団体の代表が壇

上に升り、お酒を注いで、橋に感

謝した。

桜井雄吉市長は「行事の

シオ体操、提唱者の湯浅利

米、お酒を注いで、橋に感

謝した。

延岡走りぬるの頭頭でラ

ジオ体操、提唱者の湯浅利

米、お酒を注いで、橋に感

謝した。

花が飾られ、橋の「親柱」

に参加団体の代表が壇

上に升り、お酒を注いで、橋に感

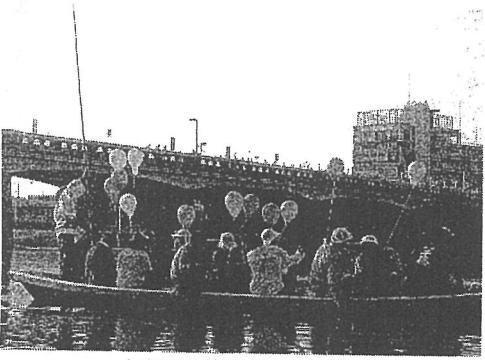
謝した。



風船を持って橋をパレード



安賀多橋のあちこちで清掃。隅っこ泥、ごみなどもきれいに取り除いた



大瀬川を上るどんこ舟

タ刊デイリー新聞 平成17年8月4日

湯浅さん（富崎） 橋梁新聞賞

「橋の日」提唱 全国に訴え

A black and white portrait of Wang Kang, a man with short dark hair, wearing a dark jacket over a light-colored shirt.

湯浅 利彦さん

A black and white portrait of Tomio Kubo, a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a suit and tie. He is smiling and looking directly at the camera. The background is slightly blurred.

宮日 平成18年3月16日



清掃や献酒、橋に感謝

橋に感謝する延岡「橋」た。市民約四百人が参  
の日」イベン<sup>ト</sup>は四日、如<sup>シテ</sup>同福を清掃したり、  
延岡市の安賀多橋であつ<sup>ト</sup>、献花・献酒した。二十二回  
川」が初めて歌われた。  
「ハシ」の語同音合わせて  
「ハサウエイ」の意味だ。

の大切さを認識していく。  
今回は、文楽観光友好都市となつてゐる福岡県柳川市の名物「どんこ舟」が参加。地元のアユ釣り舟もでて、「水郷姫」回をアピール。参加者は川面を眺めながらうつやうやかにモダンな音楽を楽しんだ。湯瀬さんは「川が治水の面ばかり考へられるのではなく、橋の口を通じて市民が川に触れるところが、市民が川に触れるところが、川になれば」と話していました。

（左）改修を終えた安賀多橋  
（右）「橋の日」イベント参  
加者たち

の大切さを認識していく。  
今回は、文楽観光友好都市となつてゐる福岡県柳川市の名物「どんこ舟」が参加。地元のアユ釣り舟もでて、「水郷姫」回をアピール。参加者は川面を眺めながらうつろいギングも楽しんだ。湯瀬さんは「川が治水の面ばかり考へられるのではなく、橋の口を通じて市民が川に触れるところが、市民が川に触れるところが、川になれば」と話して、いた。

うど、個人の立場で「橋」かけの活動を続けてきる。の田」を提唱。八六同そのがもあって、今年六一年の延岡橋の田は十二都道府県、橋の実行委員会(時文部省)由イベントが実施される。贈賞式は十三日、崎市の高島観光ホルネルアリーナ新聞社から

表、翌年の富崎橋の日美  
行委員会（塙見一郎会  
長）の説明をもとに、  
さういふに、異人図書館で  
橋に関する本や記事を調  
べ、実施団体や自治会に  
橋の日のへの理解を呼び掛  
けた。湯浅さんは「橋の魅力  
は、橋を使う人の思いや  
歴史が重ねられている  
ところにあると思う。私もこ  
つては一生、毎日が『橋  
の日』。細く長い頃張り  
予定だという。

贈賞式は二十三日、  
崎市の宮崎観光ホテル  
あり、橋梁新聞社から  
と賞金が贈られる。

宮日 平成18年8月5日

## 「橋の日」全国PR

提唱20年でサミット 宮崎市

橋の日サミット「inみやざき」  
やさき2006（宮崎橋の日実行委員会主催）は  
十八日、宮崎市の市民プラザであった。県内の橋  
りょう業界や自治体関係者約百人が参加。本県  
を発祥の地として二十年が経過した八月四日の  
「橋の日」を全国的な活動に広める大会宣言を探  
択した。

記念講演で国土交通省新地域道路課長は新潟県の  
重要文化財「萬代橋」など北陸三県の橋を紹介。  
小学生が割りばしで橋の模型を作る「はしの橋」コ

ンセスト」などを通じて橋の日をPRする活動成果を報告した。  
パネルトークもあり、橋の日にイベントなどを行っている東京都の団体代表ら六人が討論。橋の日提唱者である宮崎市小松台の湯浅利彦さん（六四）も参加し、「橋の日の行事をきっかけに子どもたちが橋をはじめ、その周辺の環境にも関心を持つてほしい」と話した。

最後に「橋の日を通して地域社会に貢献する」「橋の日を全国に広める」などの大会宣言を探択した。

橋の日は、延岡市出身にしよう」と個人の立場で橋りょうメーカーに勤務していた湯浅さんが一九八五（昭和六十）年、「河川や橋とそれがあう日



橋の日を全国的に広めようと初めて開催した  
「橋の日サミット inみやざき」

宮日 平成18年8月5日

## 橋の日サミット

inみやざき2006

宮崎橋の日実行委員会が主催

宮崎橋の日実行委員会は8月18日、宮崎市民プラザで「橋の日サミット inみやざき2006」を開催した。  
塙見一郎会長は冒頭で「今年で20周年。橋の日を広めることを目的とした開催だった」と述べた。今回のサミットをきっかけに全国で地域の行事として定着することを願う」と挨拶した。  
記念講演では国交省北陸地方整備局道路部地域



橋梁新聞 平成18年9月1日

## ■ 県外の橋の日活動



### 8月4日「橋の日」川岸きれいに 200人汗

「橋の日」の八月四日、鹿児島市の甲突川河畔で、橋の日記念事業として、川岸の清掃活動が実施された。この活動は、毎年八月四日に行われる「橋の日」イベントの一環である。今年は、天保山大橋から武之橋までの約1.5kmを対象とした。午前8時40分頃、約200人のボランティアたちが集合し、各自持ったゴミ袋と一緒に川岸を歩いて、ゴミを拾いながら、川の状況を確認する。また、川底や河岸の植物についても観察する。活動時間は約1時間半ほどで、午後1時頃まで続いた。

この清掃活動は、鹿児島市が主催する「橋の日」推進協議会によって実施された。協議会は、建設業関連団体などから構成されている。清掃活動は、川の美化と環境保護のための取り組みの一環である。また、この活動を通じて、市民の意識向上や地域活性化につながることを目指している。

「橋の日」の清掃活動は、毎年多くの市民たちによって行われている。今年も多くのボランティアたちが参加し、川岸をきれいに保つことができた。また、清掃活動を通じて、川の状況や環境問題についての知識を学ぶ機会にもなった。

(南日本新聞) 平成10年8月4日

### △△ 橋の日と甲突川清掃 △△

「橋の日」の四日、建設業関連団体などでつくる鹿児島「橋の日」推進協議会は、鹿児島市の甲突川の天保山大橋から武之橋までの約1.5kmを清掃作業した。県内から約200人が参加。清掃後はコイの稚魚一万匹を放流。「橋と川の大

事さを考えて」と訴えた。午前8時から清掃を始めた。岸には花火の燃えかすやコンビニの袋などが散乱していたが、一時間ほどで作業で二ト車二台分のごみが集まり、ほとんどが片づけられた。清掃後、きれいになつた。川に放流されたコイに、参加者は「元気に育らせるよう川にするからな」と声をかけていた。鹿屋市下祓川の中学生二年生長谷祐希君(23)は「橋のたもと近くが特に汚れていて驚いた。橋からのポイ捨てはやめて」と話していた。

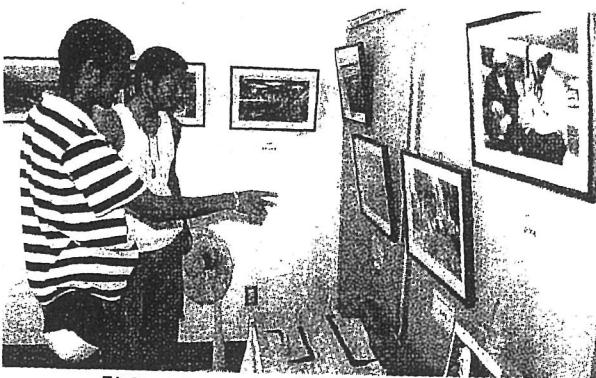
参考: 参加者は両岸に分かれ、午前8時から清掃を始めた。岸には花火の燃えかすやコンビニの袋などが散乱していたが、一時間ほどで作業で二ト車二台分のごみが集まり、ほとんどが片づけられた。清掃後、きれいになつた。川に放流されたコイに、参加者は「元気に育らせるよう川にするからな」と声をかけていた。鹿屋市下祓川の中学生二年生長谷祐希君(23)は「橋のたもと近くが特に汚れていて驚いた。橋からのポイ捨てはやめて」と話していた。

(南日本新聞) 平成10年8月6日



岩国市の錦帯橋をはじめ国内外の名橋、奇橋の写真を集めた展示会が、同市錦見のJR西岩国駅構内にある「流れあい交流館西岩国」で開かれている。入場無料。  
一郎さん(ア)が、四日の近所の写真愛好家観良(かわら)の作品や知人が写した計約二十点を飾った。錦帯橋の「平成の架け替え」は休館。(田中美千子)

## 「橋の日」PRへ写真展 錦帯橋はじめ岩国の愛好家



「橋の日」にちなみ、橋にまつわる写真を集めた展示会

中国新聞にて(平成18年8月4日)

## 日中の名橋など紹介



## 30分の1錦帯橋模型も

ふれあい交流館 今月末まで写真・資料展

岩国市錦見の「流れあい交流館」にて、錦帯橋の模型が作られた。模型は、橋の全長約160メートルを30分の1で縮小して作成された。模型は、木製で、重さは約10キログラム。模型は、橋の構造や、橋の歴史などを示す。また、模型は、橋の構造や、橋の歴史などを示す。また、模型は、橋の構造や、橋の歴史などを示す。

防長新聞にて(平成18年8月4日)

## 「橋の日」(8月4日)に合わせ

釧路観光ガイドのみ拾いウォーク



釧路川周辺でごみ拾いを行った釧路観光ガイドの会

8月4日は釧路「橋の日」(昭和61年)、富崎市の市民の会(木保秀一会長、会員36人)は初のごみ拾いウォークを4日、釧路川の幣舞橋から久寿里橋周辺で行つた。木保会長は来年以降も継続し、橋の日を定着させたい考えた。

「橋の日」は語呂合わせだが、みんなを愛す

の活動として1986年

8月4日は釧路「橋の日」(昭和61年)、富崎市の市民の会(木保秀一会長、会員36人)は初のごみ拾いウォークを4日、釧路川の幣舞橋から久寿里橋周辺で行つた。木保会長は来年以降も継続し、橋の日を定着させたい考

えだ。

その富崎市から釧路観光ガイドが活動展開の提案を行つた。

8月4日は釧路「橋の日」(昭和61年)、富崎市の市民の会(木保秀一会長、会員36人)は初のごみ拾いウォークを4日、釧路川の幣舞橋から久寿里橋周辺で行つた。木保会長は来年以降も継続し、橋の日を定着させたい考

えだ。

この日はガイドの会から8人と観光協会の担当者を加え10人が参加し、釧路の観光スポットである幣舞橋から久寿里橋にかけての釧路川周辺で、ごみ拾いを行つた。

木保会長は「橋の日の活動を通じ、幣舞橋から眺める夕日は世界の中で美しいと言われる釧路川の観光スポットを広くアピールしたい」と狙いを定めた。

(郷裕策)

2005年8月5日 币舞(ぬさまい)橋にて橋の日活動(北海道)

「橋の日」に合わせごみ拾い

8月4日は釧路「橋の日」(昭和61年)、富崎市の市民の会(木保秀一会長、会員36人)は初のごみ拾いウォークを4日午前9時から釧路川の幣舞橋から久寿里橋周辺で実施する。橋の日にちなんだ活動は道内で初めてという。

「橋の日」は語呂合わせだが、郷土のシンボルである河川とそこに架かる橋梁を通して、みんなを愛する活動の展開を行つてきている。

この日はガイドの会から8人と観光協会の担当者を加え10人が参加し、釧路の観光スポットである幣舞橋から久寿里橋にかけての釧路川周辺で、ごみ拾いを行つた。

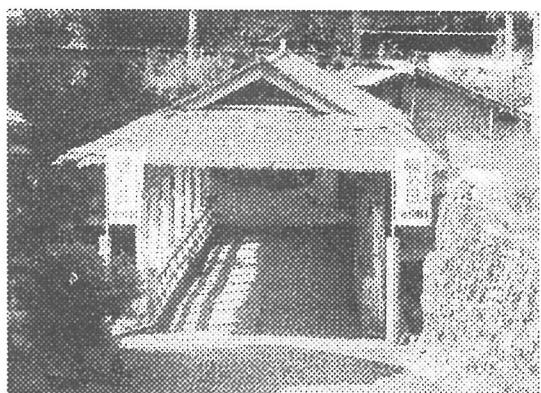
木保会長は「橋の日の活動を通じ、幣舞橋から眺める夕日は世界の中で美しいと言われる釧路川の観光スポットを広くアピールしたい」と狙いを定めた。

(郷裕策)

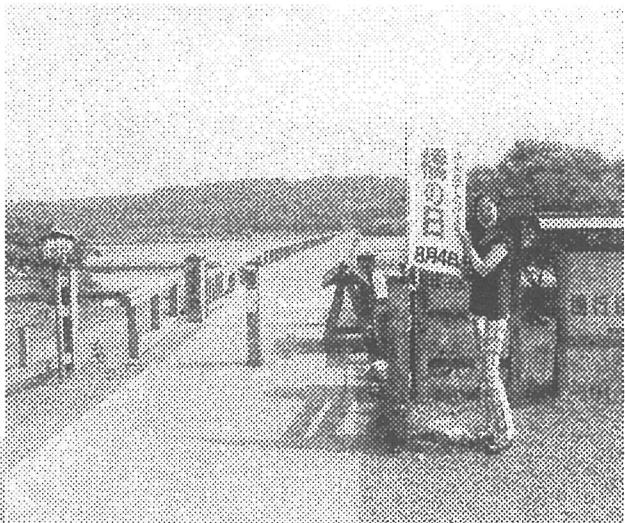
平成10年8月6日



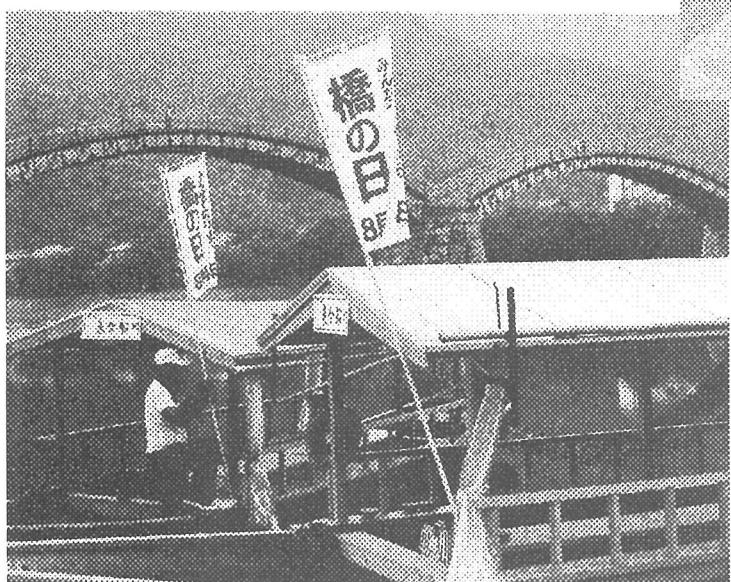
甲州猿橋にて（山梨県）



三嶋橋にて（大島橋）



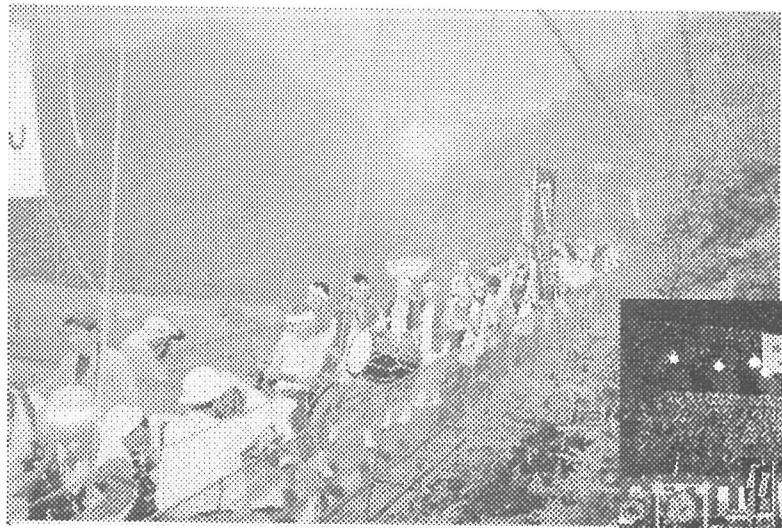
蓬莱橋にて（静岡県）



錦帯橋にて（山口県）



錦帯橋にて（山口県）



橋の日イベントで揺れ太鼓披露  
(奈良県十津川村)



千住大橋の清掃  
(東京橋の日実行委員会)





# 参考資料

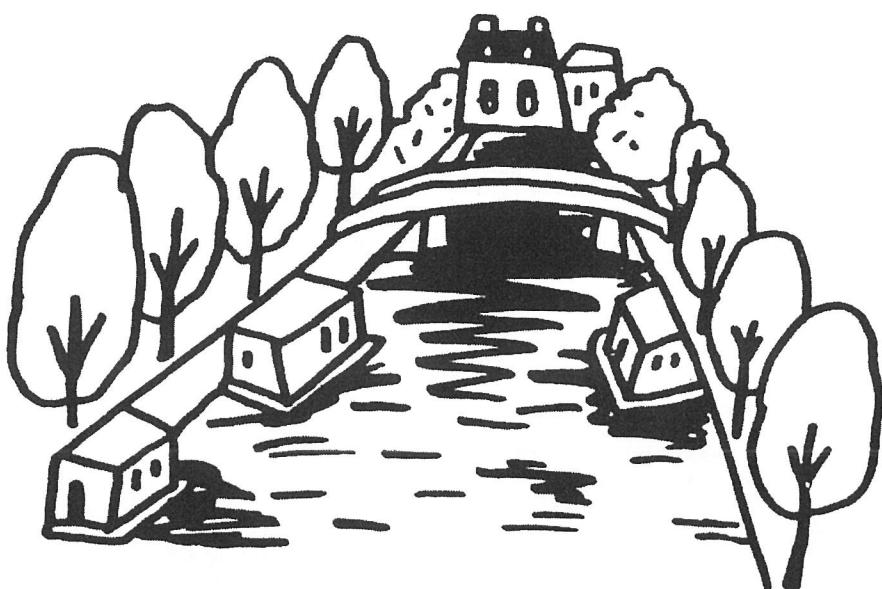
橋の日イベントの取組について

橋の日の歌楽譜

朝まだき楽譜

橋の日活動支援について

実行委員名簿・協力団体・企業



# 橋の日イベントの取組について

これから橋の日をお考えの皆さま、活動行事の参考にしてください。

## ●橋への献花

いろんな立場で参加してもらえば、橋の役割が更に見えてくると思います。

宮崎では、管理者、地域代表、商店街、小学生、橋梁メーカー、当日ボランティア、行政、実行委員などで取り組んでいます。

## ●橋・河川の清掃

8月は、朝早い清掃が気持ち良いですね。

出勤前の時間でしたらたくさんの方に参加していただけます。

## ●橋上の演奏、または親柱付近での演奏

太鼓やコーラス、吹奏楽の演奏が向いています。

静かな演奏は屋外ということもあり、難しいように思います。

## ●橋のスケッチ大会

地域の小学生に参加してもらっては開催（鹿児島市で実施）

また、橋とモデルさんとの撮影会も企画してはどうでしょう（日之影町で実施）

## ●魚の放流

宮崎では、地元の漁協に協力してもらっています。

放流することも大切ですが、それを多くの人に広報することも更に大切なことです。

当日は、看板等もつくってPRに努めています。

## ●橋の紹介展示

橋に関するパネルや写真展をおこなってはいかがでしょう？

## ●橋に関するポスター

この記念誌でも紹介していますが、石橋や、橋梁 101 選の企画を実施しました。

形に残るので、非常に喜ばれます。

## ●橋の見学会(テーマを絞って)や講演

石橋や機能的な橋等を巡る旅。ナビゲーターの選定が一番大切な要件です。また、橋についての講演（勉強会）工法についてや歴史の紹介等。



## ●割箸で橋をつくるコンテスト

ほくりく橋の日で取り組んでいます。くわしいことは、インターネットでご覧ください。

## ●ウォーキング大会やスタンプラリー

たくさんの方々に参加していただけます。

短時間で橋を回るコースがオススメです。

日頃、橋の上を歩かない方はとても感動されます。

## ●橋上、餅つき大会(紅白餅をサービス配付)

にぎやかでおめでたいイベントです。

## ●橋のクイズ(レインボーブリッジは何県にある、錦帯橋は、猿橋は?)

パネル展と合わせて行うと楽しいです。

## ●橋をテーマに、俳句・短歌・川柳、絵画、作文を募集

地元の同好会の方にお願いして、橋をテーマに作品を募集して、新聞紙上で紹介をしています。「川風に浴衣姿の肩車」これは、この大会で優秀賞を取った作品です。

## ●橋の高欄に風鈴設置(爽やかな音の演出)

笹竹に、風鈴や提灯をつけてにぎやかな演出をしています。

## ●橋へ幟設置(管理者の許可が必要となります)

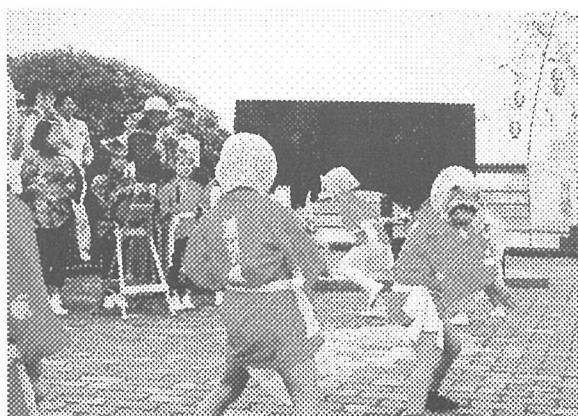
小さな幟ですが、大きいものよりインパクトがあります。

貸し出しましてありますのでお問い合わせください。

## ●その他

橋上で大綱引き大会、座談会の開催、兄弟橋の締結、橋へのライトアップ。

こんな橋があったらいいな絵画展、たくさんの方々を巻き込むことが大切かと思います。



## 橋の日の歌

(川・橋・そして人)

湯浅利彦 作詞  
斎藤正浩 作曲

明るくのびのびと ♩ = 122

*なつ の ひ ざち し が ま 一 あ 一 し 一 くは てし と*  
 なまち と まち た しと おう まむ はー あすれ ー ぶー ー ぱー はれ てしと  
 みなでう みなでう みなでう みなでう

*キラリ キラ キ ラ ひ か ーー る か わ*  
 ひとと ひと と の で あ ーー い ば シ  
 そらにとど け よ ち の ーー は て も

あのかわこのかわ ゆめのかわー  
 あのはしこのはし ゆめのはわしー  
 あのまちこのまち ゆめのまちー

やさしいながれ うつくーしく  
 あさひるよると たゆまーななく  
 きぼうにみちた ひとびーとくの

すみーよい一まちを そだてーまます  
 すみーよい一まちを そだてーまます  
 ふれーあう一っころ そにじのまはすし

それはあたたかいい　ははーのよう　一  
 それはたくばましい　ちちーのよし　う  
 それはすくばらしい　かけーはしひ　ね  
*cresc.*

**p** *cresc.*

ははーの一よう　一  
 ちちーの一よし　う  
 かけーはし

**f**

1. 2.

**mf** *mp* 1. 2.

3. D. S.

3. D. S.

## 【歌詞】

### 橋の日の歌

(川・橋・そして人)

湯浅利彦 作詞

斎藤正浩 作曲

夏の日差しが まぶしくて  
キラリキラキラ 光る川  
あの川 この川 夢の川  
やさしい流れ 美しく  
住みよいまちを 育てます  
それは あたたかい  
母のよう 母のよう

まちとまちとを 結ぶ橋  
人と人との 出会い橋  
あの橋 この橋 夢の橋  
朝昼夜と たゆまなく  
住みよいまちを 育てます  
それは たくましい  
父のよう 父のよう

皆で歌おう 晴れ晴れと  
空にとどけよ 地の果ても  
あの町 この町 夢の町  
希望に満ちた 人々の  
ふれあう心 虹の橋  
それは 素晴らしい  
懸け橋ね 懸け橋ね

# 朝まださ

長塚 節作歌  
齊藤 正浩作曲

Adagio quasi Allegretto ♩ = 120

あさまーださーす しきーわたーるは しのうえに しりしまーひく しそけたりみ わ あさーまーださーす しきーわたーるは  
しのうえに きりーしまーひく

A page of musical notation for a vocal piece. The music is written in ten staves, each with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The tempo is indicated as  $\frac{4}{4}$  time. The vocal line is accompanied by piano or harpsichord parts. The lyrics are written in Japanese below the notes. The vocal part includes several melodic lines with grace notes and slurs. The piano/harpsichord parts provide harmonic support with sustained notes and rhythmic patterns.

し すみ てり も ゆめ  
あ あ あ あ あ あ  
あ あ ま だき  
し のう 先に  
は し のう 先に に に  
し すみ てり も ゆめ  
ほ し のう 先に

## 橋の日活動支援について

橋の日実行委員会では、橋の日行事を実施する団体に、送料のみ(着払い)で「橋の日の歌」「橋の日の幟」を無料貸し出しをしています。

その他にも、できる範囲でご協力させていただきますので、メールやお電話にてお問い合わせください。(事務局までどうぞ)

- ① 橋の日の歌 カセットテープ (歌入り、歌なし)
- ② 橋の日の幟 5枚迄
- ③ 橋の日20周年記念誌



# 会員名簿

(役職)	(氏名)	(勤務先)
会長	塩見 一郎	宮崎ガス株式会社 相談役
副会長	横山 忠夫	ジョイフルサイエンスクラブ 会長
会員	稻用 光治	県立宮崎工業高校 教諭
//	井上 和彦	宮崎県土木部 橋梁係
//	今井 富士夫	宮崎大学工学部土木環境工学科 教授
//	枝元 宏彰	国土開発コンサルタント
//	加世田 節郎	株式会社志多組 土木本部
//	神田 豊	ショーボンド建設株式会社
//	久保田 重信	(財)全国建設研修センター
//	大司 和弘	国土交通省宮崎河川国道事務所
//	福島 順一	初代橋橋を架けた福島邦成翁の曾孫
//	前田 政明	株式会社ピーエス三菱
//	松本 こ一せい	イラストライター
//	満倉 忠勝	株式会社ジオセンターM
//	湯浅 利彦	橋の日 提唱者
//	湯川 大介	宮崎県西臼杵土木課
事務局	鶴羽 浩	株式会社ながと
監査	貞原 信義	技術士(建設部門)
//	生野 敏明	南日本興業株式会社
相談役	藤本 廣	宮崎大学名誉教授
//	青井 正彰	

(あいうえお順)

## ○ 橋の日協力団体・企業(敬称略)

- ・九州地方整備局宮崎河川国道事務所
- ・宮崎県
- ・宮崎市
- ・学校法人宮崎学園 宮崎学園高等学校
- ・(社)宮崎県測量設計業協会
- ・(社)宮崎県建設業協会
- ・(社)プレストレストコンクリート建設業協会九州支部
- ・日本橋梁建設協会九州・沖縄事務所
- ・宮崎内水面漁業協同組合
- ・宮崎県産業開発青年隊
- ・宮崎県ボーイスカウト宮崎連盟
- ・宮崎市橋通り1丁目商店街振興組合
- ・雲海酒造株式会社
- ・清本鐵工株式会社
- ・株式会社志多組
- ・株式会社ながと
- ・ショーボンド建設株式会社 他

○宮崎橋の日実行委員会 20周年記念誌

平成19年(2007)1月23日  
発行 宮崎橋の日実行委員会

事務局

宮崎市橋通東1丁目8-11 宮崎商工会館6階  
株式会社デザインエム内  
電話(0985)31-8001 FAX(0985)31-9277  
ホームページ <http://www.nico2.co.jp/bridgeday/>  
E-mail [hirosongs@dance.ocn.ne.jp](mailto:hirosongs@dance.ocn.ne.jp)

みんなで広げよう橋の日を！

8/4  
は  
し  
8月4日は「橋の日」